

本機の情報を確認する

製造番号・バージョン・更新期限などを確認する

本機の子機ID・製造番号や、各種ソフトウェアのバージョンを確認できます。

1 システム情報・設定メニュー (P.16) から、バージョン情報を選ぶ

2 各種情報を確認する



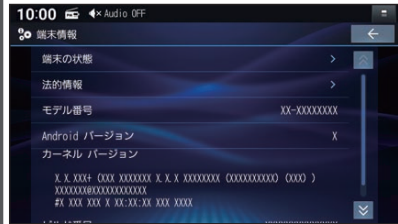
- 車載器ID
- 製造番号
- ソフトバージョン
- 地図データバージョン
 - 道路地図：道路地図データ
 - 画像：案内画像データ
 - 音声：音声案内データ
 - 索引：索引データ (地点検索)
 - 市街図：市街地図データ
- 地図更新期限
- Gracenoteデータベース
- ドライブレコーダーバージョン

端末情報を確認する

本機の子機情報を確認できます。

1 システム情報・設定メニュー (P.16) から、端末情報を選ぶ

2 端末情報を確認する



- 端末の状態
 - IPアドレス
 - Wi-Fi MACアドレス
 - 稼働時間
 - 位置情報
- 法的情報：各種ライセンス情報など
- モデル番号：本機の機種品番
- Android バージョン
- カーネルバージョン
- ビルド番号

本機のデータを更新する

有償地図更新のご案内

本機は、年度更新地図（有料）で地図の更新ができます。

年度更新地図の発売時期・販売方法などについては、決定しだい、下記サイトにてご案内します。

<https://panasonic.jp/navi/>



■ 更新内容

- 道路地図（縮尺 50 m ~ 250 km）
※細街路含む。
- 案内画像（リアル3D表示・ジャンクションビュー・方面看板など）
- 音声案内
- 地点検索データ（施設情報・電話番号情報など）
- 逆走検知データ
- 市街地図

有効期間と更新範囲

【申込受付期限】 本製品の使用開始日から最大3年後まで

【利用可能期間】 本製品の使用開始日から最大3年間

【データ提供期間】 2022年9月上旬～2024年12月15日まで（予定）
期間内に下記いずれかの1回限り、全地図更新できます。

- 2022年9月上旬～2023年8月下旬：2022年8月版
- 2023年9月上旬～2024年8月下旬：2023年8月版
- 2024年9月上旬～2024年12月中旬：2024年8月版

※配信は延期・中止される場合があります。更新データの配信予定時期については、Webサイトをご覧ください。

※上記期間以降の更新は、年度更新地図の販売をご利用ください。

（発売時期・販売方法については、決定しだい当社サイトにてご案内いたします。）

■ 更新内容

- 道路地図（縮尺 50 m ~ 250 km） ※細街路含む。
- 案内画像（リアル3D表示・ジャンクションビュー・方面看板など）
- 音声案内
- 地点検索データ（施設情報・電話番号情報など）
- 逆走検知データ
- 市街地図

無料地図更新サービス

CN-HA01D **CN-HA01WD**

準備

- 地図更新アプリを専用サイトからダウンロードして、パソコンにインストールしてください。
- 無料地図更新のご利用には、ユーザー登録が必要となります。ユーザー登録は地図更新アプリから行ってください。
- SD規格に準拠した16 GB以上のSDメモリーカードをご用意ください。

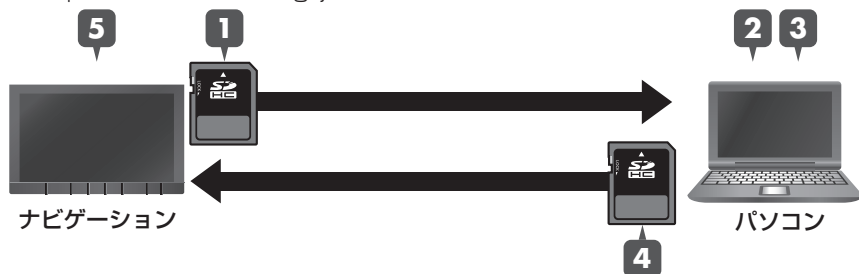
■ 地図更新アプリ


- 対応OS：Windows 8.1/Windows 10
※ 地図更新アプリを使用するには、.NET Framework 4.8のインストールが必要です。
- ダウンロードURL：
<https://panasonic.jp/car/navi/freemap/>
- インターネットを利用できる環境などが必要です。詳しくは、当社サイトをご覧ください。（通信費用はお客様のご負担となります。スマートフォンでのご利用はできません。）

パソコンを使用してソフトウェア・地図を更新する

準備

- SDメモリーカードはパソコンで初期化したものを使用してください。初期化にはSD File System Specification 準拠のSDメモリーカードフォーマッターを使用してください。
SDメモリーカードフォーマッターダウンロードWebサイト
<https://www.sdcard.org/ja/downloads-2/formatter-2/>



- 1 ナビゲーションにSDメモリーカードを挿入し、システム情報・設定メニュー (P.16) から、**ソフトウェア・地図 更新 ▶ 更新用SDカード作成 ▶ はい**を選ぶ
●更新用SDメモリーカードが作成されます。
- 2 更新用SDメモリーカードをナビゲーションから取り出し、パソコンに挿入する
- 3 地図更新アプリを起動し、更新データをダウンロードして更新用SDメモリーカードに保存する
- 4 更新用SDメモリーカードをパソコンから取り出し、ナビゲーションに挿入する
●ステータスバーにが表示されます。
- 5 システム情報・設定メニュー (P.16) から、**ソフトウェア・地図 更新 ▶ 更新 ▶ はい ▶ 更新する**を選ぶ
●データの更新を開始します。(更新中に本機が再起動する場合があります。)
●更新に要する時間は、更新データの容量により異なります。
●更新中は、本機を操作できません。

お願い

- 更新中に他の操作をする、車のエンジンを切るなどはしないでください。故障の原因となります。
- エンジンを止めたまま使用し続けると、車のバッテリーが消耗します。必ずエンジンをかけてご使用ください。
- エンジンをかけたまま、換気の悪い場所(周囲が囲まれた車庫など)で長時間使用しないでください。

後席用モニターと組み合わせる

接続する各機器の説明書もよくお読みください。

本機の映像([TV]、[DVD]、[SD(動画)]、[USB(動画)])を、後席用モニターに表示できます。

準備

- 後席用モニターの入力モード(「ビデオ」など)を、本機と後席用モニターとの接続方法にあわせて切り換えてください。

オーディオを切り換える

(P.41)

- 本機および後席用モニターに、選んだオーディオが表示されます。
- [MAP]を押すと、後席用モニターに映像を出力したまま、本機のディスプレイを現在地画面に切り換えることができます。
- 後席用モニターには、走行中でも映像が出力されます。

お願い

- 本機で後席用モニターを使用する場合は、取付時に正しく配線する必要があります。詳細については、取付説明書をご覧ください。

お知らせ

- TVなど、後席用モニター以外の機器を接続することは出来ません。
- コピーガードがかかっている番組やDVDは、録画機器を経由してモニターで視聴すると正常に受像できません。コピーガードがかかっている番組やDVDを視聴する場合は、録画機器を経由しないで本機とモニターを直接接続してください。

ETC2.0車載器と接続して使う

接続する各機器の説明書もよくお読みください。

ETC2.0車載器を接続すると、VICSの情報提供サービスを受けたり、ETCとして有料道路で料金の自動支払いや通行ができます。

機種によっては、ETC2.0車載器側の機能が一部制限されます。

- ETC2.0車載器の一部のボタンは操作できません。
- ETC2.0車載器からの音声案内は行いません。
ナビゲーションから音声または画面表示で案内されます。



お知らせ

- 機種によっては、ETC2.0車載器から音声案内される場合があります。
 - ETCカードを入れたままエンジンをかけた(ACCをONにした)とき
 - ETCカードを入れたままエンジンを止めた(ACCをOFFにした)とき

信号情報活用運転支援システム(TSPS)による情報提供サービス

道路上に設置された光ビーコンから取得する信号情報および車の走行情報を用いて、信号交差点を円滑に通行するための情報を表示と音声で案内します。
表示例

状況	表示	音声
前方の信号交差点の案内ができるとき		なし
現行速度で走行すれば、前方の信号機を通過できると予測したとき(信号通過支援)*1		なし
現行速度で走行すれば、前方の信号機が赤になると予測したとき(赤信号減速支援)*1		この先、信号機があります。ご注意ください。
停車中、前方の信号機が青になるときの待つとき(発進遅れ防止支援)		なし

状況	表示	音声
停車中、前方の信号機が、あと5秒で青に変わるとき（発進遅れ防止支援）		まもなく青信号です。
前方の信号交差点の案内ができないとき		なし

* 1 通過時の灯色の予測が変わったとき、または交差点を通過するときは「支援あり」の表示に変わります。

お知らせ

- 各支援の設定について、詳しくは(P.82)をご覧ください。
- 本機能はあくまでも補助機能です。実際の信号機の点灯状況と異なる場合は信号機の表示に従ってください。案内を過信せず、常に実際の道路状況や道路標識、前方の信号表示を優先して運転してください。
- 常に前方の交差点を直進方向に走行すると想定して案内を行います。矢印信号のある交差点では、点灯状態と異なる案内をする場合があります。
- 受信時点の情報のため、その後の状況の変化により、実際の信号機の灯色と合わない場合があります。
- 支援ありアイコン表示のまま、案内を行わない場合があります。
 - ・提供対象外の信号機があるか、地図に無い信号機があるとき
 - ・信号機の色が変わる直前のとき
 - ・対象となる交差点までの距離が短いとき
 - ・高速走行しているときや低速走行しているとき
- 支援なしアイコンが表示される場合があります。
 - ・信号機のサイクルに応じた有効時間があります。有効時間が経過すると案内ができなくなります。
 - ・信号機の制御方式（押しボタン式、感應式など）により、信号情報が不確定なため、案内しない交差点があります。
- ご利用には、TSPSに対応したETC2.0車載器が必要です。
- すべての光ビーコンでTSPSの情報を提供しているわけではありません。対象路線情報についてはVICSセンターのWebサイト(<https://www.vics.or.jp/>)をご覧ください。

リアビューカメラと組み合わせる

接続する各機器の説明書もよくお読みください。

リアビューカメラに切り換える

カメラの映像は、視野・距離感が目視時とは異なります。車両を移動させる際には、必ず目視でも確認してください。

準備

- カメラ設定をしてください。

車のシフトレバーを「R(リバース)」に入れる

- カメラの映像が表示されます。



お知らせ

- 車のシフトレバーを「R」に入れないと、カメラの映像は表示されません。
- カメラ映像が見にくいときは、カメラの映像を表示して画質を調整してください。
- ドライブレコーダー（CA-DRO3HTD）を接続している場合、ドライブレコーダーのリアカメラの映像を表示します。

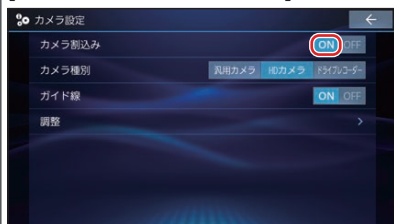
リアビューカメラの設定をする

リアビューカメラをご利用になる前に、下記設定を行ってください。

1 システム情報・設定メニュー (P.16) から **カメラ設定** を選ぶ

2 カメラ割込み **ON** を選ぶ

- カメラ設定がONになります。
[お買い上げ時の設定: OFF]



3 カメラ種別からリアビューカメラの種類を選ぶ

[お買い上げ時の設定: 汎用カメラ]

- ドライブレコーダー (CA-DRO3HTD) を接続している場合、**ドライブレコーダー** を選ぶと、ドライブレコーダーのリアカメラの映像を表示します。

4 ガイド線表示の **ON** を選ぶ

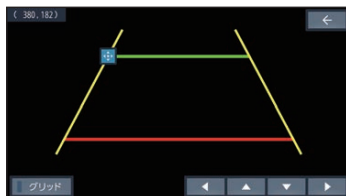
[お買い上げ時の設定: ON]


5 ガイド線表示の **調整** を選ぶ

- カメラの映像が表示されない場合は、手順3でカメラ種別を変更してください。

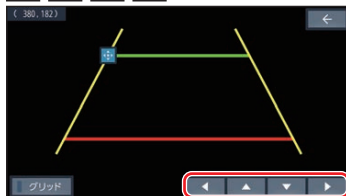
6 ガイドラインを調整する

1 ガイドラインの調整したい点を **タッチ** する



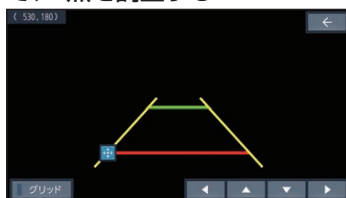
- タッチした場所が  で表示されます。
- [MAP]** を2秒以上押すと、画質調整画面が表示されます。

2 で位置を調整する



- **グリッド** 調整の目安となるグリッドの表示/非表示を切り換えます。

3 上記手順6-1～6-2を繰り返して、4点を調整する



4 調整が完了したら、**←** を選ぶ

お知らせ

- ドライブレコーダー (CA-DRO3HTD) のリアカメラ映像を表示する場合は、リヤカメラ録画を「する」に設定してください。

その他の外部機器と接続して使う

ドライブレコーダーなどを本機と接続し、操作することができます。

接続する各機器の説明書をよくお読みください。

ドライブレコーダーと接続する

別売のドライブレコーダーを本機と接続して、運転の状況を記録できます。録画した動画・撮影した静止画は、本機で確認できます。

ドライブレコーダーのリアカメラで後方確認する

- ドライブレコーダー(CA-DRO3HTD)を接続している場合のみ本機能が使えます。

準備

- 「ダイレクトボタン設定」を「カメラモニター」に設定してください。(P.84)

現在地画面で \odot を選ぶ

- ナビ画面がリアカメラの映像に切り換わります。



解除するには、画面をタッチしてください。

保存したファイルを選んで消去する

消去したいファイルを再生し、動画再生画面/静止画再生画面から

消去▶はいを選ぶ



- 選んだファイルが消去されます。

お知らせ

- ファイルを消去すると、動画/静止画は前後両方とも消去されます。どちらか一方のみを消去することはできません。

利用に応じた設定に変える

地図表示に関する設定

1 ナビ情報・設定メニュー(P.17)から**ナビ設定**を選ぶ

2 **表示設定**を選び、各項目を設定する

[太字：お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
ランドマーク設定	地図画面に表示するランドマークを選択できます。
50m市街地図表示	「ON」: 50 m縮尺のとき、市街地図で表示する 「OFF」: 50 m縮尺のとき、広域地図で表示する
走行軌跡を表示	「ON」: 走行軌跡を表示する 「OFF」: 走行軌跡を表示しない
走行軌跡の記録を消去する	走行軌跡の記録を消去する ▶ はい : 走行軌跡の記録を消去する
目的地方向を表示(P.24)	「ON」: 目的地方向直線を表示する 「OFF」: 目的地方向直線を表示しない
自車位置修正	自車位置を修正できます。(通常は、この操作は必要ありません)

ルート探索に関する設定

1 ナビ情報・設定メニュー(P.17)から**ナビ設定**を選ぶ

2 **探索設定**を選び、各項目を設定する

[太字：お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
新旧ルート比較画面を表示	「ON」: VICS自動再探索でルートが再探索されたとき、変更前のルートも通行可能であれば、新旧ルート比較画面を表示する 「OFF」: 新旧ルート比較画面を表示しない
新旧ルート自動選択	「 新ルート 」: 新旧ルート画面で約8秒間操作しないと、新ルートで再探索 「元ルート」: 新旧ルート画面で約8秒間操作しないと、旧ルートのままとする
到着予想時刻の計算方法	「 自動 」: VICS情報や統計交通情報を考慮して、自動的に到着予想時刻を計算する 「 手動 」: 一般道・有料道路の平均速度を手動で入力し、その数値をもとに到着予想時刻を算出する 「 手動 」を選んだ場合、 ■/■ で設定する ● 一般道: 5~50~80 km/h ● 有料道路: 5~80~100 km/h ● 「自動」「手動」を切り換えても、手動で入力した数値は保持されます。 ● 「自動」を選んでいる場合、手動で入力した数値は無視されます。
ルート学習結果の初期化	ルート学習結果の初期化 ▶ はい ▶ はい : 本機のルート学習機能を初期化する

ルート案内に関する設定

1 ナビ情報・設定メニュー(P.17)から**ナビ設定**を選ぶ

2 **案内設定**を選び、各項目を設定する

[太字：お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
案内拡大図の表示	「ON」： 案内拡大図を表示する 「OFF」： 案内拡大図を表示しない
ETCレーンの表示	「ON」： ETCレーン案内を表示する 「OFF」： ETCレーン案内を表示しない
方面看板の表示 (P.21)	「ON」： 方面看板を表示する 「OFF」： 方面看板を表示しない
ハイウェイモードの表示	「ON」： ハイウェイマップを表示する 「OFF」： ハイウェイマップを表示しない
Audio画面中の案内割込み	「ON」： オーディオ画面を表示中に割り込んでルート案内する 「OFF」： オーディオ画面を表示中に割り込んでルート案内しない
逆走注意アラーム (P.26、P.27)	「ON」： 逆走検知警告、および逆走注意アラームを案内する 「OFF」： 逆走検知警告、および逆走注意アラームを案内しない
VICS案内	「ON」： ルート案内中にVICSの渋滞/規制情報がある区間に近づくと、音声で案内する 「OFF」： 渋滞/規制情報を音声で案内しない

■ 信号情報活用運転支援設定*1

[太字：お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
光ビーコンアップリンク	「ON」： 本機で収集した情報を光ビーコンに送信し、信号情報を受信する 「OFF」： 本機で収集した情報を光ビーコンに送信しない(信号情報を受信しない)
赤信号減速支援 (P.77)*2	「ON」： 前方の信号機が赤信号になると予測したことをアイコンで表示する 「OFF」： アイコンを表示しない
信号通過支援 (P.77)*2	「ON」： 前方の信号機を青で通過できると予測したことをアイコンで表示する 「OFF」： アイコンを表示しない
発進遅れ防止支援 (P.77)*2	「ON」： 前方の信号機が青になるまでの残り時間をアイコンで表示する 「OFF」： アイコンを表示しない
支援音声ガイド (P.77)*2	「ON」： 赤信号減速支援、発進遅れ防止支援を音声で案内する 「OFF」： 音声で案内しない

*1 高度化光ビーコン対応のETC2.0車載器キット(別売品)が必要です。

*2 「光ビーコンアップリンク」が「ON」の場合のみ、設定できます。

渋滞情報案内(VICS)に関する設定

1 ナビ情報・設定メニュー(P.17)から**ナビ設定**を選ぶ

2 **渋滞設定**を選び、各項目を設定する

■ FM VICS周波数

[太字：お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
受信周波数	現在の周波数がFM多重放送の放送局の場合、放送局名を表示する
周波数の選局方法	「自動選局」： 自車位置に応じて、FM多重放送を受信する放送局を自動的に切り換える 「手動選局」： FM多重放送を受信する周波数を手動で設定する
手動選局	[-] + ： 周波数を設定する ※周波数の選局方法が「手動選局」のときのみ設定できます。
エリア選局	FM VICSを受信したいエリア(放送局)を選ぶ ※周波数の選局方法が「手動選局」のときのみ設定できます。

■ ビーコン割込み設定*1

[太字：お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
ビーコン受信音	「ON」： 情報を受信すると、受信音を鳴らす 「OFF」： 情報を受信しても、受信音を鳴らさない
ビーコン割込み	「ON」： 情報を受信すると、自動的に表示される 「OFF」： 情報が自動的に表示されない

■ ETC2.0割込み設定*2

[太字：お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
ETC2.0受信音	「ON」： 一般情報を受信すると、受信音を鳴らす 「OFF」： 一般情報を受信しても、受信音を鳴らさない
ETC2.0割込み	「ON」： 一般情報を受信すると、自動的に表示される 「OFF」： 一般情報は自動的に表示されない
ETC2.0自動音声再生	「ON」： 情報を受信すると、自動的に音声案内される 「OFF」： 情報は自動的に音声案内されない
ETC2.0アップリンク	「ON」： 本機で収集した情報を、ITSスポットに自動的に送信する 「OFF」： 本機で収集した情報を、ITSスポットに送信しない

*1 高度化光ビーコン対応のETC2.0車載器キット(別売品)が必要です。

*2 ETC2.0車載器キット(別売品)が必要です。

ETC情報の案内に関する設定

1 ナビ情報・設定メニュー(P.17)からナビ設定を選ぶ

2 ETCの音声案内設定を選び、各項目を設定する

[太字：お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
ETC音声案内	「ON」： 利用料金などを、本機から音声で案内する 「OFF」： ETC音声案内しない
カード入れ忘れ案内	「ON」： 本機の電源がONになったときにETCカードが挿入されていない場合、本機から音声で案内する*1 「OFF」： カード入れ忘れ案内しない
カード抜き忘れ案内	「ON」： 本機の電源がOFFになったときにETCカードが取り出されずに車載器に残っている場合、本機から音声で案内する*1 「OFF」： カード抜き忘れ案内しない

*1 ETC 音声案内を「OFF」に設定しても案内します。

本機のシステムに関する設定・確認

システム情報・設定メニュー(P.16)から、各項目を設定・確認する

[太字：お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
操作音	「ON」： 操作音を鳴らす 「OFF」： 操作音を鳴らさない
時計表示	「ON」： 画面に時計を表示する 「OFF」： 画面に時計を表示しない ● 本機はGPSアンテナで受信した時刻を表示しているため、テレビ番組の時刻表示とは異なる時刻が表示される場合があります。

■ 案内音声設定

[太字: お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
本体音量スイッチ操作で案内音量調整を優先	「ON」: ナビゲーションの音声案内中に、 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> で案内音量を調整できる 「OFF」: ナビゲーションの音声案内中に、 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> で案内音量を調整できない
案内音量の車速連動	「ON」: ナビ案内音量を車速連動する(走行速度によって自動的に音量を上げる) 「OFF」: ナビ案内音量を車速連動しない
案内出力スピーカー	「左前」: 案内音声を左のフロントスピーカーから出力する 「右前」: 案内音声を右のフロントスピーカーから出力する
案内時のAudio音量消音	「ON」: 音声案内時にオーディオ音声を消音する 「OFF」: 音声案内時にオーディオ音声を消音しない ※「OFF」に設定されている場合も、音声案内時はオーディオの音量が下がります。

[太字: お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
音量設定 (P.12)	ナビゲーションの案内音、ハンズフリー着信音などを調整することができます。
画質調整	画面の明るさやコントラストなどを調整することができます。
画面OFF	画面を一時的に消すことができます。
トップメニューカスタマイズ (P.18)	トップメニューを編集することができます。
セキュリティ設定 (P.19)	「ON」: セキュリティ機能を使用する 「OFF」: セキュリティ機能を使用しない
盗難多発地点 表示案内 (P.20)	「ON」: 盗難多発地点を地図に表示する 「OFF」: 盗難多発地点を地図に表示しない
市街地図での盗難多発地点表示案内 (P.20)	「ON」: 盗難多発地点を市街地図に表示する 「OFF」: 盗難多発地点を市街地図に表示しない ※ 盗難多発地点 表示案が「ON」のときのみ設定できます。
車種設定 (P.13)	使用しません。(販売店が設定します。)
カメラ設定 (P.79)	リアビューカメラの設定ができます。
ドライブレコーダー設定	ドライブレコーダーの設定ができます。
ステアリングスイッチ設定 (P.41)	ステアリングスイッチに機能を登録することができます。
ダイレクトボタン設定 (P.80)	「ドライブレコーダー動画画録画」: 動画画録画タッチキーを表示する 「ドライブレコーダー静止画撮影」: 静止画撮影タッチキーを表示する 「カメラモニター」*1: ドライブレコーダーのリアカメラタッチキーを表示する 「表示しない」: ダイレクトボタンを表示しない
休憩案内	「ON」: 休憩を促す音声案内を行う 「OFF」: 休憩案内しない
バージョン情報 (P.74)	車載器ID、製造番号、ソフト・地図・Gracenoteデータベースのバージョンなどを確認できます。
車両信号情報	車両信号情報を確認できます。
拡張ユニット情報	iPod、USB、ETC2.0車載器、ドライブレコーダーの接続状態を確認できます。
ナビヘルプ	ナビヘルプダウンロード先の二次元コードを表示します。
ソフトウェア・地図更新 (P.76)	本機のソフトウェアや地図データの更新ができます。
Gracenoteデータベース更新 (P.58)	Gracenoteデータベースを更新できます。
初期化 (P.85)	本機の各種設定をお買い上げ時の状態に戻します。
端末情報 (P.74)	本機の端末情報を確認できます。

*1 ドライブレコーダー (CA-DR03HTD) を接続の場合のみ表示されます。

各種設定をお買い上げ時の状態に戻す

1 システム情報・設定メニュー(P.16)から**初期化**を選ぶ

2 初期化する項目を選ぶ

3 はい ▶ はいを選ぶ

- 選んだ項目が初期化されます。
※「キーボード学習結果の初期化」を選んだ場合は、1回目の**はい**で初期化されます。
- **初期化(削除)した項目は、もとに戻しません。**
誤って大切なデータを削除することがないように、ご注意ください。
- TVの初期化を行った場合は、車のエンジンを止め(ACC OFF)、ボタン照明が消えて約10秒経過してから、再度車のエンジンをかけてください(ACC ON)。

項目	設定内容
SDカードの初期化	SDメモリーカードを初期化する(NTFSファイルシステムは初期化できません) ● 録音した音楽データも削除されます。
TVの初期化	TVで設定した内容を初期化する
キーボード学習結果の初期化	キーボードの学習機能を初期化する
出荷状態に戻す	本機のすべての設定をお買い上げ時の状態に戻す ● オーディオがOFFに切り換わります。 ● ドライブレコーダーの設定がお買い上げ時の状態に戻ります。

お願い

- 初期化中は他の操作(オーディオを切り換えるなど)をしないでください。
故障の原因となります。

お知らせ

- SDメモリーカードから録音データのみを消去する場合は、MEMORY MUSIC再生画面(P.56)から**録音データ初期化**を選んでください。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、お客様が入力された個人情報(登録地の住所や電話番号など)、自宅などの登録情報を必ず削除してください。
- 本機を別の車に載せかえた場合や、タイヤを交換またはローテーションした場合は、システム情報・設定メニュー(P.16)から、**車両信号情報 ▶ センサー学習値初期化**を選んでセンサー学習値を初期化してください。
- バッテリー交換をした際には、下記の設定が初期化されます。
 - オーディオOFF/ON
 - AM・FMの周波数、エリアプリセット/ユーザープリセットの選択
 - ディスク・MEMORY MUSIC・USB/SD(音楽/動画)の再生位置
 - CD録音設定
 - CD・DVD・USB・SD・MEMORY MUSICの再生モード
 - テレビの主番組/副番組、マルチチャンネルの設定

よくあるお問い合わせ

斜体の項目の確認には、専門の技術と経験が必要です。
安全のため、お買い上げの販売店にご相談ください。



自車マークが表示されない

- 地図モード画面になっている。
→[MAP]を押してください。(P.21)

自車位置が正しく表示されない

- ACC OFFの状態で車を移動した。(フェリーボート、駐車場のターンテーブルなど)
→しばらく見晴らしの良い道路を走行してください。
- 立体駐車場などの、GPS信号を受信できない場所を走行した。
→しばらく見晴らしの良い道路を走行してください。
- GPS衛星からの信号の誤差が大きい。
→しばらく見晴らしの良い道路を走行してください。
- GPS信号を妨げる障害物などがないか確認してください。
- GPSアンテナが、受信しにくい場所に付いていないか確認してください。(取付説明書)
- 距離、回転、3Dの補正が完了していない。
→システム情報・設定メニュー(P.16)から、**車両信号情報**を選んで学習レベルを確認してください。学習レベルが1の場合は、しばらく見晴らしの良い道路を走行してください。
- GPSアンテナのコードや、車速信号コード、リバースコードなどが、正しく接続されているか確認してください。(取付説明書)
- GPSアンテナが、ナビゲーションユニットや別売のETC2.0車載器のアンテナの近くに取り付けられている。
→GPSアンテナは、ナビゲーションユニットから20 cm以上、ETC2.0車載器のアンテナユニットから15 cm以上離して取り付けてください。(取付説明書)
- 本機を別の車に乗せかえた。タイヤをローテーションした。
→センサー学習値の初期化を行ってください。

縮尺を切り換えたのに、もとの縮尺に戻る

- 地図モード画面で縮尺を切り換えている。
→地図モード画面で切り換えた縮尺は、現在地画面に反映されません。
現在地画面で/を選び、縮尺を切り換えてください。(P.30)

ディスクやSDメモリーカードが正しく読めない

- ディスクやSDメモリーカードが汚れている。
→汚れを取り除いてください。
- ディスクを表裏逆に挿入した。
→正しい面で挿入しなおしてください。

地図の年度更新の方法について知りたい

- 年度更新地図の発売時期・販売方法については、決定しだい、下記サイトにてご案内します。
<https://panasonic.jp/navi/>

故障かな!?

斜体の項目の確認には、専門の技術と経験が必要です。
安全のため、お買い上げの販売店にご相談ください。

電源・共通


■ 動作

内 容	ページ
電源が入らない/起動が遅い	
車のエンジンがかかっていない。 ● エンジンをかけて (ACC を ON にして) ください。	(P.11)
低温状態または高温状態になっている。 ● 故障ではありません。内部の温度が正常になると、自動的に起動します。(オーディオに関する一部の情報や設定はお買い上げ時の状態に戻ります。)	—
ナビゲーションの電源を切った直後にもう一度起動すると、起動に時間がかかる場合があります。	—
ハイブリッド車などの特定の車種ではナビゲーションの起動に時間がかかる場合があります。	—
電源が落ちる	
バッテリー電圧が低くなっている。 ● バッテリー電圧を確認してください。バッテリー電圧が 11 V 以下の場合、ナビゲーションの電源が落ちる場合があります。	—
● アイドリングストップ車の場合は、アイドリングストップ中のバッテリー電圧を確認してください。バッテリー電圧が 11 V 以下の場合、車両メーカーにお問い合わせください。	—
ディスプレイの上下角度が調整できない	
障害物などに当たっていたり、コードを挟み込んでいないかを確認してください。	—
タッチパネルの反応が悪い/反応しない	
アースコードがしっかりと車体の金属部に接続されていることを確認してください。	取付説明書
フリック/ドラッグ/ピンチ/2点タッチ/ダブルタップ/2点ドラッグ/回転ドラッグ操作をしている。 ● 画面によっては、上記の操作ができません。	—
指の腹でタッチすると、2点タッチとして誤動作することがあります。必ず、指の先でタッチしてください。	—
爪でタッチすると、反応しない場合があります。必ず、指の先でタッチしてください。	—
指の動きより遅れて反応する場合がありますが、故障ではありません。	—
ステアリングスイッチが正しく動作しない	
ステアリングスイッチ設定が、正しく完了していない。 ● ステアリングスイッチ設定画面で、登録可能なすべてのステアリングスイッチを登録後、 戻る を選んで設定を完了してください。	取付説明書
本機が温くなる	
長時間連続して使用している。 ● 正常に機能している場合は、故障ではありません。	—

内 容	ページ
SDメモリーカードを挿入しても本機が認識しない	
<ul style="list-style-type: none"> ●本機または専用フォーマッター以外でフォーマットしたSDメモリーカードは、本機では認識しない場合があります。SDメモリーカードを本機で初期化するか、専用フォーマッターでフォーマットしてください。 ●SDメモリーカードによっては認識しないものもありますので、別のカードをお試しください。 	(P.85、P.107)
ディスクが排出されない	
録音中などの場合、ディスクが排出できない場合があります。	
●時間を置いて、再度 DISC EJECT を選んでください。	-
本機で再生できないディスクを使用したり、ディスクに汚れ、指紋が付いている場合、ディスクが排出できない場合があります。	
● ▲ を10秒以上押してください。	-
ディスクを挿入できない	
すでにディスクが挿入されていて2枚目を挿入しようとしている。	
●挿入されているディスクを取り出してから、次のディスクを挿入してください。	-
勝手に地図が動き始めたり、映像が再生されたりする	
本機にはデモモードとして、ルート案内のデモ走行や本機に挿入されているディスクの映像を再生する機能があります。	
●ルート案内のデモ走行が動作している場合は、 デモ走行中止 を選んでください。	-
●映像が再生されている場合は、画面をタッチし、 ■ を選んでください。	(P.48)
●ルート案内のデモ走行、または映像再生の停止後、GPSを受信するかしばらく走行してください。以降はデモモードは動作しません。	-
停車時に「走行中は映りません。」と表示される	
電子パーキングブレーキ搭載車では停車中であっても操作制限がかかる場合があります。	
● お買い上げの販売店にご相談ください。	-

■ 画面／映像

内 容	ページ
映像が暗い/白っぽい/色あいが悪い/色が薄い	
画質調整が適切でない。	
● MAP を2秒以上押して画質調整画面を表示させ、各項目を調整してください。	-
本機が高温になると、画面の明るさを自動調整したり、画面の表示を停止する場合があります。	
●本機の温度が下がるまでお待ちください。	-
本機が低温になっている場合、画面が白っぽくなる場合があります。	
●車の暖房を使用して、室温を上げ、本機の温度が上がるまでお待ちください。	-
画面が曇る	
冷暖房を使用した直後などには、結露のため画面が曇ったり、正しく表示されない場合があります。	
●結露が解消するまでお待ちください。	-
画面に赤、青または緑の点が表示される	
液晶ディスプレイ特有の現象です。故障ではありません。	-
ディスプレイに何も表示されない/表示されるのが遅い	
本機が低温になっている場合、映像の表示に時間がかかる場合があります。	
●車の暖房を使用して、室温を上げ、本機の温度が上がるまでお待ちください。	-
一時的に画面を消している。(画面OFF)	
● AUDIO / MENU / MAP / ▲ のいずれかを押すか、画面をタッチしてください。	-

内 容	ページ
電源コード/接続ハーネスの接続をご確認ください。	取付説明書
電源コネクターのヒューズが切れている。 ●お買い上げの販売店またはお近くの「サービス相談窓口」にご相談ください。	取付説明書
音声は出るが、映像が出ない	
一時的に画面を消している。(画面OFF) ●[AUDIO]/[MENU]/[MAP]/  のいずれかを押すか、画面をタッチしてください。	—
パーキングブレーキをかけていない。 ●安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてください。	—
サイドブレーキコードの接続が外れていないか確認してください。	取付説明書

■ 音声

内 容	ページ
ステレオのとき左右の音が逆になる	
スピーカーコードの接続を確認してください。	取付説明書
左右前後のいずれかの音が出ない	
フェーダー/バランスの設定を確認してください。	—
各コードの接続を確認してください。	取付説明書
音が悪い(音が飛ぶ)	
DVD・CDなどの場合は、ディスクの汚れをクリーニングしてください。	(P.106)
iPod・スマートフォン・USBメモリーなどの場合は、延長ケーブルを使用せずに接続してください。	—
本機の取り付けを確認してください。 ●角度を40°以内に調整し、振動しないようにしっかりと取り付けてください。	取付説明書
雑音が出る	
スマートフォンなどを本機から離してください。	—
アースコードがしっかりと車体の金属部に接続されていることを確認してください。	取付説明書
オーディオの音量が変わる	
オーディオ情報・設定メニューからオーディオチューンを選び、車速連動音量の補正量を「OFF」にしてください。	—

ナビゲーション

■ 案内

内 容	ページ
音声案内されない/オーディオの音声は出力されるのに、ナビゲーションの音声案内が出力されない	
音量設定で、「ナビ案内音」の音量が「0」に設定されている。 ●「ナビ案内音」の設定を調整してください。	(P.12)
フェーダー/バランスの出力レベル設定を確認してください。 ●センターから離れすぎると音声案内が小さくなりすぎることがあります。	—
ルートから外れている。 ●現在地画面で自車がルート上にあるかを確認し、ルートに戻ってください。 ●再探索してください。	(P.21) —
ルートに対して逆走行している。 ●目的地の方向を確認してください。 ●再探索してください。	(P.24) —
各コードの接続を確認してください。	取付説明書

内 容	ページ
ルート案内中に料金案内されない	
ルートが有料道路上から始まっている。 ● 有料道路上で自動再探索や再探索してルートが有料道路上から始まっているときは、料金案内されない場合があります。	—
有料道路以外で有料案内する	
地図データで有料道路判定をするため、最近無料化された道路などは、実際と異なり有料案内することがあります。	—
料金所が入口付近になくても、有料道路の手前で音声案内します。	—
高速道路を走行中に一般道路の案内をする / 一般道路を走行中に高速道路の案内をする	
高速道路と一般道路が隣接しているときは、誤った道路が案内される場合があります。 ● ランチャーから、 道路切替 を選んでください。	—
一般道優先で探索しているのに、有料道路上にルートを作る	
現在地と目的地の場所によっては、一般道優先で探索しても有料道路上にルートを作ることがあります。(故障ではありません) ● 通りたい一般道路上に経由地を設定してください。	(P.38)

■ 動作

内 容	ページ
登録地が登録されない / 設定が変更されない / 探索したルートが削除された	
操作のあと、すぐに電源を切った。 ● 再度操作してください。	—
← を選んでも、前の画面に戻らない	
画面によっては、← を選んでも前の画面に戻らない場合があります。	—
地図画面上でフリック / ドラッグ以外の操作ができない	
フリック / ドラッグ操作でスクロール中は、画面上でそれ以外の操作はできません。 ● 約 1 秒間何も操作せずに、地図モード画面になってから操作してください。	—
バック時にバックモニターの映像が映らない	
リアビューカメラが正しく設定されていない。 ● カメラ設定の「カメラ割込み」を「ON」にしてください。 ● カメラ設定の「カメラ種別」でリアビューカメラの種類を正しく選んでください。	(P.79) (P.79)
リバース信号が検出できていない。 ● 車両信号情報の「リバース信号」が正常か確認してください。	—

■ 表示

内 容	ページ
VICS 情報が表示されない (FM VICS)	
VICS を放送している放送局を受信しているか確認してください。	—
FM の電波が弱い。 ● 障害物 (トンネルやビルの陰など) のない場所に移動してください。 ● 電波の強い周波数の放送局を選局してください。	— —
VICS 情報の保持時間が過ぎた。 ● 新しい情報を再度受信するまでお待ちください。	—
VICS のサービス外の地図を表示している。 ● VICS のサービスを行っている圏内の地図を表示し確認してください。	—
ラジオアンテナの接続を確認してください。	取付説明書

内 容	ページ
VICS情報が表示されない(光ビーコン/ETC2.0)※ 別売のETC2.0車載器が必要です。	
ETC2.0車載器の取り付け状態が悪く受信できない。 ● アンテナの上に物を置かないでください。 ● 極端にフロントガラスが汚れている場合は、きれいにしてください。 ● 取り付け位置や接続を確認してください。	取付説明書
電波不透過ガラスや赤外線反射ガラス装着車両では、受信できない場合があります。 ● お買い上げの販売店にご相談ください。	
TSPSアイコンが表示されない※別売のTSPS対応ETC2.0車載器が必要です。	
路側装置の機器メンテナンス作業や故障などにより、終日または時間帯によって、情報が提供されない場合があります。	—
地図データに対象交差点の情報がないときはTSPSアイコンは表示されません。	—
地図画面が黄色く表示される	
表示中の地図全体に気象・災害情報がある場合は、地図画面全体が薄い黄色で表示されます。	—

オーディオ [TV]

■ 映像／音声

内 容	ページ
映像も、音声も出ない	
本機が異常に高温になっている。 ● 車内の温度を下げた後、本機の電源を入れなおしてください。	—
受信状態が悪い。 ● 車のある場所や方向により、受信状態が変化します。受信状態の良い場所に移動してください。	—
電源を入れても映像がすぐに出ない	
ソフトウェアが起動して映像を表示するまでに時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。	—
映像や音声(ときどき)出なくなる/静止する、音声が遅れて聞こえる	
車のある場所や方向により受信状態が変化します。視聴中に、受信状態により「黒色」画面になることがありますが、故障ではありません。	—
車両の搭載機器(電動ドアミラー、パワーウィンドウ、エアコン、HIDランプなど)の動作によってノイズが発生し、アンテナレベルが低下することがあります。	—
自動車/バイク/高圧線/ネオンサイン等の近くを車が通過したとき、アンテナレベルが低下することがあります。	—
地上デジタル放送の受信状態が良くないときに、受信モードが「地上D」になっている。 ● 地上デジタル放送の電波が弱い地域では、受信モードを「ワンセグ」に切り換えてください。(ワンセグに切り換わるときに、映像や音声が一時的にとぎれたり、遅れたりする場合があります。)	—
地上デジタル放送が受信できない/受信状態が悪い	
地上デジタル放送の放送エリア外にいる場合、受信できません。また、受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できない場合があります。	—
長距離移動などで現在のチャンネル設定では受信できない場所にいる。 ● ユーザープリセットのスキャンを行ってください。	—
フロントガラスに車載カメラ装置(自動ブレーキシステムやドライブレコーダーなど)が装着されている場合は、カメラから地上デジタルアンテナを離して取り付けてください。	取付説明書
地上デジタルアンテナの接続を確認してください。	取付説明書

オーディオ [FM/AM]

■ 動作

内 容	ページ
エンジンをかけると、車のラジオアンテナが上下する	
エンジンをかけるタイミングにより、上下する場合がありますが、故障ではありません。	—

■ 音声

内 容	ページ
ラジオが受信できない/ノイズが多い	
放送局の電波が弱い。 ● 放送局を変えてください。	(P.45)
ラジオアンテナが十分に伸びているか確認してください。	—
周波数再編が実施された。(これまで受信できた放送局が受信できなくなった。) ● 新しい周波数をプリセットのリストに記憶させてください。	(P.45)
ワイドFM非対応のラジオアンテナでFM補完放送を受信しようとした。 ● ラジオアンテナがワイドFMに対応していない場合は、FM補完放送を受信できません。	—
● ラジオアンテナおよび、アンテナコントロールコードの接続・設定を確認してください。 ● ラジオアンテナのケーブルを他のコードと束ねたり・重ねたり・交差させたりせず、できるだけ離してください。	取付説明書

オーディオ [DVD]

■ 動作

内 容	ページ
ディスクが再生できない	
ディスクを正しい面で挿入しなおしてください。	(P.46)
再生できないディスクを挿入した。 ● 再生できるディスクを使用してください。	(P.104、P.105)
長時間の車内環境におかれることにより、ディスクが劣化し再生できなくなる場合があります。特にDVD-R/RW・CD-R/RWは高温多湿環境に弱いため、劣化が起りやすくなります。	(P.104、P.106)
ディスク挿入後、またはDVDに切り換えたあとに、フォーマットが識別される少しの間、音が途切れることがあります。	—
タッチパネルを操作しても、動作しない	
ディスクによっては、その操作を禁止している場合があります。(故障ではありません。)	—
設定した字幕言語/音声言語/アングルが切り換わらない	
複数の字幕/音声/アングルが記録されていないディスクでは、切り換えられません。 ● トップメニューなどで切り換えたり、特定の映像のみアングルなどを切り換えられるディスクもあります。ディスクの説明書をご覧ください。	—
設定した字幕言語/音声言語で再生されない	
設定した字幕/音声/アングルが記録されていないディスクでは、設定どおりの字幕/音声で再生されません。 ● トップメニューなどで切り換えられるディスクもあります。ディスクの説明書をご覧ください。	—

内 容	ページ
メニュー画面のメッセージが希望の言語にならない	
操作パネルから 設定 ▶ 言語設定 を選び、メニュー言語の設定を確認してください。	—

■ 音声

内 容	ページ
再生中に小さい音が聞き取りにくい	
操作パネルから 設定 ▶ ダイナミックレンジ圧縮 を選び、「ON」に設定してください。	—
DVD再生の音量が小さい	
音楽CDとDVDの録音レベルには差があります。 ●DVD再生時には、音楽CD再生時よりも音量を上げてください。	(P.12)
音質が悪い(音が飛ぶ)	
ディスクの汚れをクリーニングしてください。	(P.106)
本機の取り付けを確認してください。 ●角度を40°以内に調整し、振動しないようにしっかりと取り付けてください。	取付説明書

オーディオ [MP3/WMA (CD-R/CD-RW)]/[SD]/[USB]

■ 動作

内 容	ページ
再生するまで時間がかかる	
記録されているフォルダ/ファイル階層が多い。 ●MP3/WMA以外のファイルや必要ないフォルダなどは、書き込まないようにしてください。	—
ファイルのサイズが大きすぎる。 ●サイズが大きいファイルは、読み込みに時間がかかります。	—
順番どおりに再生されない	
書き込んだ順番に再生されます。 ●再生したい順番に、書き込んでください。 ●ファイル名の頭に「001」～「254」などと入力することで順番を設定できるライティングソフトもあります。	— —
再生できない	
本機に対応したメディアを再生してください。 ●SDメモリーカード・USBメモリーによっては、認識しないものもあります。別のSDメモリーカード・USBメモリーをお試しください。	(P.104, P.107) —
使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって、正しく再生されない場合があります。	—
ビットレート/サンプリング周波数を確認してください。	(P.108)
ファイルが破損している。 ●本機が再生できる形式で、ファイルを作りなおしてください。	(P.108)
ファイルには以下の拡張子を必ず付けてください。 ●MP3ファイル: 拡張子「mp3(MP3)」 ●WMAファイル: 拡張子「wma(WMA)」 ●AACファイル: 拡張子「m4a(M4A)」 「aac(AAC)」 ●WAVファイル: 拡張子「wav(WAV)」 ●FLACファイル: 拡張子「flac(FLAC)」 「fla(FLA)」	— — — — —

■ 音声

内 容	ページ
音質が悪い(音が飛ぶ)	
ディスクの汚れをクリーニングしてください。	(P.106)
音質は、使用したエンコーダソフトやビットレートの設定などにより異なります。詳しくは、エンコーダソフトの説明書をご覧ください。	—
低倍速で、再度データを書き込んでください。	—
再生経過時間は表示されているが、音が出ない	
ミックスモード(第1トラックに音楽以外のデータ、第2トラック以降に音楽データが、1セッションで記録されているフォーマット)のディスクの第1トラックを再生した。 ●ミックスモードで再生しようとした場合、MP3/WMAファイルが無音で再生されることがあります。	—

■ 表示

内 容	ページ
ファイル名・フォルダ名が正しく表示されない/曲情報が正しく表示されない	
規格に準拠した文字種・文字数で入力してください。	(P.108)
使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって文字などが正しく表示されない場合があります。	—
再生経過時間の表示が実際と一致していない	
再生中、ACCをOFFにした。 ●他のファイルを選んで再生すると、正常に戻ります。	—
可変ビットレート(VBR)で記録されたファイルは、再生経過時間が正しく表示されない場合があります。	—

オーディオ [MEMORY MUSIC]

■ 録音

内 容	ページ
録音設定の切り換えができない	
録音中の場合は、録音を停止してください。	(P.54)
音楽CDを再生しても、自動で録音されない	
録音設定が 手動録音 に設定されている。 ●録音設定を 自動録音 に設定してください。	(P.53)
MP3/WMAファイルを再生している。 ●MP3/WMAは録音できません。	—
録音できない	
ディスクにキズが付いていると、録音できません。 ●キズがあるディスクは使用できません。	(P.106)
録音済みのディスクである。 ●1曲でも録音済みのディスクは自動で録音しません。手動で録音してください。	(P.53)
録音中に車両のキースイッチ(電源ポジション)を切り換えてエンジンを始動した。 ●別のSDメモリーカードに交換して使用してください。(録音中のエンジン始動の影響などでSDメモリーカードが壊れている可能性があります。)	—
SDメモリーカードの容量が不足している。 ●使用状況を確認してください。録音済みの曲を消去すると新たに録音できます。	—
SDメモリーカードの誤消去防止スイッチを「LOCK」方向にしている。 ●「LOCK」を解除してください。	—

内 容	ページ
録音したはずの曲(アルバム)が再生されない、または止まる	
再生管理データが読み取れていない。 ●別のSDメモリーカードに交換して使用してください。(録音中のエンジン始動の影響などでSDメモリーカードが壊れている可能性があります。)	—

■ 動作

内 容	ページ
CDから録音した曲が再生されない	
曲のファイルが破損している。 ●再生されない曲を削除し、再度CDから録音してください。	—
パソコンなどを使って、本機でSDメモリーカードに録音したアルバム・曲のフォルダ名やファイル名を変更した。 ●本機でSDメモリーカードを初期化して、再度録音してください。	(P.54, P.85)
SDメモリーカードが破損している、またはSD規格に準拠したカードではない。 ●他のSDメモリーカードで再生ができるか、ご確認ください。	—
録音したはずの曲が再生されないまたは止まる	
録音曲数が多い。 ●曲数が多くなるとデータのチェック時間も長くなります。しばらくお待ちください。	—
SDソースを選んでいる。 ●本機で録音した曲を再生する際は、MEMORY MUSICソースを選んでください。	—

■ 音声

内 容	ページ
音質が悪い(音が飛ぶ)	
ご使用になるSDメモリーカードによっては、再生時の音飛びが発生する場合があります。いったん音楽データを削除してから、再度録音してください。 ●改善されない場合は、本機またはSDフォーマッターでSDメモリーカードを初期化し、再度録音してください。なお、初期化するとデータはすべて削除されます。必要なデータはあらかじめパソコンにバックアップを取ってください。それでも改善されない場合は、転送速度の速いSDメモリーカードに変更してください。	— (P.85, P.107)

■ 表示

内 容	ページ
録音した音楽CDのアルバム名/曲名が表示されない	
新譜などのため、Gracenoteデータベースにタイトル情報がない。 ●Gracenoteデータベースを更新してタイトル情報を取得してください。	(P.58)

オーディオ [iPod]

■ 動作

内 容	ページ
iPodが正しく動作しない	
iPodが正しく認識されていない。 ●接続を確認してください。 ●iPodをリセットしてから再度接続してください。	取付説明書 —
iPodのバージョンが古い。 ●iPodのバージョンを確認してください。	(P.64)

BLUETOOTH

■ 登録

内 容	ページ
BLUETOOTH対応機器を本機に機器登録できない	
本機のBLUETOOTH接続が OFF になっている。 ●本機のBLUETOOTH接続を ON に設定してください。	(P.68)
BLUETOOTH対応機器のBLUETOOTH機能がOFFになっている。 ●BLUETOOTH対応機器を操作して、BLUETOOTHをONに設定してください。	—
A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)に対応したBLUETOOTH Audio機器を登録してください。	—
HFP (Hands-Free Profile)に対応したスマートフォンを登録してください。	—
BLUETOOTH対応機器のファームウェア(ソフトウェア)を最新にしてください。	—
BLUETOOTH対応機器の登録機器リストで本機の機器名称(Strada)を選択しても、本機を登録できない	
BLUETOOTH対応機器に同じ機器名称で登録されている、別の機器を選択した。 ●本機からBLUETOOTH対応機器の登録を削除し、BLUETOOTH対応機器の登録機器リストから本機(Strada)を削除してから、再度機器登録からやりなおしてください。	(P.68)

■ 接続

内 容	ページ
本機に接続できない	
BLUETOOTH対応機器が本機に機器登録されていない。 ●機器登録してください。	(P.67)
本機に対応したプロファイルでないと本機と接続できません。 ●プロファイルを確認してください。	(P.66)
スマートフォンがHFPに対応していないとBLUETOOTH接続できません。(機種によっては、HFPに対応していなくても本機に登録される場合があります。)	—
スマートフォンがSPP (Serial Port Profile)に対応していないとハンズフリー接続できません。	—
スマートフォンの受信状態を確認してください。	—
BLUETOOTH対応機器を本機に近づけてください。	—
BLUETOOTH機器と見通しの良い状態で通信を行ってください。障害物等の影響で通信距離が短くなるおそれがあります。特に金属や人体(ポケットなどに入れている時など)に近接すると途切れたり通信不能になる場合があります。	—
BLUETOOTH対応の周辺機器(ヘッドフォン等)や無線LAN、その他無線機器などの電波を発する機器が多い環境、その他電波状態の悪い環境で使用しないでください。接続が頻繁に途切れたり、通信不能になる場合があります。	—
自動的にペアリング情報が削除された。 ●本機からBLUETOOTH対応機器の登録を削除し、BLUETOOTH対応機器の登録機器リストから本機(Strada)を削除してから、再度機器登録からやりなおしてください。	(P.68)
自動接続が完了していない。 ●BLUETOOTH対応機器が本機と自動接続されるまで、しばらく時間がかかる場合があります。	—
本機のBLUETOOTH接続が OFF になっている。 ●本機のBLUETOOTH接続を ON に設定してください。	(P.68)

内 容	ページ
登録したBLUETOOTH対応機器が自動的に本機と再接続されない	
本機およびBLUETOOTH対応機器のBLUETOOTH機能を有効にしてください。	—
BLUETOOTH対応機器が省電力モードに設定されている。 ●一定時間経過後に自動的にBLUETOOTH接続が解除される場合があります。 BLUETOOTH対応機器の設定を変更してください。	—
BLUETOOTH対応機器を操作して、BLUETOOTHによる本機との接続を解除した。 ●再度本機とBLUETOOTH接続してください。 ●それでもBLUETOOTH接続できない場合は、本機からBLUETOOTH対応機器の登録を削除し、BLUETOOTH対応機器の登録機器リストから本機 (Strada) を削除してから、再度機器登録からやりなおしてください。	(P.68) (P.68)
BLUETOOTH対応機器が操作待ちになっている。(機種によっては、本機からのBLUETOOTH接続に対し、確認操作が必要なものがあります。) ●BLUETOOTH対応機器を操作してBLUETOOTH接続を許可してください。	—
本機の近くに、他のBLUETOOTH対応機器や2.4 GHz帯を使用する機器がある。 ●混信するため、他の機器を本機から離してください。 ●それでも混信する場合は、他の機器の電源を切ってください。	(P.112) —
BLUETOOTH対応機器が金属物に触れている場合は、離してください。	—
BLUETOOTH対応機器と本機の間には障害物がある場合は、取り除いてください。	—
BLUETOOTH対応機器を本機に近づけてください。	—
BLUETOOTHによる自動接続に失敗した。 ●いったんBLUETOOTH対応機器の電源を切り、再度電源を入れてください。 ●それでもBLUETOOTH接続できない場合は、本機からBLUETOOTH対応機器の登録を削除し、BLUETOOTH対応機器の登録機器リストから本機 (Strada) を削除してから、再度機器登録からやりなおしてください。	— (P.68)
スマートフォンがBLUETOOTH接続待機状態になっていない。 ●スマートフォンがBLUETOOTH接続待機状態でないと、本機とBLUETOOTH接続されません。スマートフォンを接続待機状態に設定してください。	—
スマートフォンがハンズフリー接続待機状態になっていない。 ●スマートフォンがハンズフリー接続待機状態でないと、本機とハンズフリー接続されません。スマートフォンを接続待機状態に設定してください。	—

その他

■ 音声

内 容	ページ
音質が悪い(音がひずむ・ノイズが発生する)	
本機の近くに、他のBLUETOOTH対応機器や2.4 GHz帯を使用する機器がある。 ●混信するため、他の機器を本機から離してください。 ●それでも混信する場合は、他の機器の電源を切ってください。	(P.112) —
スマートフォンの受信状態を確認してください。	—
BLUETOOTH対応機器の電池残量が少ない場合は、充電してください。	—

■ スマートフォン連携

内 容	ページ
NaviCon®のデータを本機で取得できない	
スマートフォンが本機に正常に接続されていない。 ●BLUETOOTH接続状態を確認してください。 ●本機のハンズフリー接続の状態を確認してください。 ●ハンズフリー接続をいったん解除してから、再度接続しなおしてください。	— (P.68) (P.68)


内 容	ページ
iPhoneまたはiPodを本機のケーブルで接続した状態でiPhoneをBLUETOOTH接続しようとした。 ● iPhoneまたはiPodをケーブルで接続すると、ケーブルでの接続が優先されるため、iPhoneでNaviCon®を利用することはできません。iPhoneまたはiPodをケーブルから取り外してください。	—
NaviCon®を終了してもBLUETOOTH接続が解除されない	
手動でハンズフリー接続を解除してください。	(P.68)
スマートフォン連携の接続が完了しない	
接続をいったん中止し、再度接続しなおしてください。	(P.68)
スマートフォン連携の切断が完了しない	
スマートフォンを操作して切断してください。	—

■ ハンズフリー通話

内 容	ページ
本機に機器登録されたスマートフォンでハンズフリー通話できない	
通話がスマートフォンに切り換わっている。 ● ハンズフリー切替 を選択し、ハンズフリー通話に切り換えてください。	(P.72)
スマートフォンのサービス圏外で使用している。 ● サービス圏内で使用してください。	—
ハンズフリー接続がされていない。 ● 再度接続してください。	(P.68)
スマートフォンがマナーモードになっている。 ● 機種によっては、マナーモードに設定していると本機から着信音が出力されない場合があります。マナーモードを解除してください。	—
ハンズフリー通話中、エコーやハウリングが起こる	
受話音量を下げてください。	(P.12)
通話中、相手の音声が聞き取りにくい	
自分と相手が同時に発声した。 ● 交互に話してください。	—
受話音量を上げてください。	(P.12)
通話がスマートフォンに切り換わっている。 ● ハンズフリー切替 を選択し、ハンズフリー通話に切り換えてください。	(P.72)
着信履歴から発信できない	
番号非通知の相手にかけようとした。 ● 番号非通知の相手には発信できません。	—
国際電話を受けた。 ● スマートフォンの契約によっては、国際電話への発信ができない場合があります。	—
スマートフォンの機種によっては、相手先の電話番号を本機に通知しないものがあります。 ● スマートフォンの着信履歴から直接発信してください。	—
通話音量が大きすぎる・小さすぎる/通話しづらい	
マイクと話者の距離が近いまたは離れている。 ● 適切な距離でお話してください。	—
エアコンの送風音をマイクが拾っている。 ● エアコンの送風を弱くするか、止めてください。	—

内 容	ページ
スマートフォンの通話中に、自動的にハンズフリー通話に切り換わる/本機と接続中、スマートフォンで通話できない	
機種によっては、BLUETOOTHにより接続されると自動的にハンズフリー通話しかできなくなる場合があります。 ●スマートフォンで通話するときは、スマートフォンを操作して本機とのBLUETOOTH接続を解除してください。	-
走行中にハンズフリー通話していたら、回線切断のメッセージが表示された	
スマートフォンの電波が弱い。 ●電波の状態が良い場所でご使用ください。	-
電話帳転送ができない	
スマートフォンがPBAP (Phone Book Access Profile) に対応していないと、電話帳転送できません。	-

■ BLUETOOTH Audio

内 容	ページ
BLUETOOTH Audio画面から操作できない(再生はできる)	
●BLUETOOTH Audio機器がAVRCP (Audio/Visual Remote Control Profile) に対応していない。	-
●AVRCPに対応していないと、本機から操作できません。BLUETOOTH対応機器で操作してください。(機種によっては、AVRCPに対応していても一部の操作ができない場合があります。)	-
再生できない	
BLUETOOTH対応機器や音楽再生アプリによっては、本機での操作を受け付けられない場合があります。 ●本機画面の  を押しても再生できない場合は、BLUETOOTH対応機器側の再生ボタンを押すことで、再生できる場合があります。	-
音量が小さい	
BLUETOOTH機器の音量を調整してください。	-
音質が悪い(音がひずむ、音が途切れる、ノイズが発生する)	
BLUETOOTH Audio機器を本機に近づけてください。また、BLUETOOTH Audio機器の向きを変えてみてください。(BLUETOOTHアンテナが本体に向くようにする。)	-
ハンズフリー接続に設定されたスマートフォンが本機と接続されていない。(例：電源がOFFになっている、車内に持ち込まれていない) ●対象機器のハンズフリー接続の接続設定を解除してください。	(P.68)

■ その他

内 容	ページ
(P.96～P.99)の処置をしても問題が解決しない/その他の問題がある	
●いったんエンジンを止めて、再度エンジンをかけてください。	-
●いったんBLUETOOTH対応機器の電源を切り、再度電源を入れてください。	-
●機器登録を削除し、再度登録しなおしてください。	(P.68)
それでも解決しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	-

Wi-Fi

内 容	ページ
スマートフォンを本機に機器登録できない	
本機のWi-Fi機能がOFFになっている。(Wi-Fi設定のON/OFF) ●本機のWi-Fi機能をONに設定してください。	(P.70)

内 容	ページ
スマートフォンのテザリングモードがOFFになっている。 ●スマートフォンを操作してWi-Fiテザリング(APモード)を設定してください。	—
スマートフォンがテザリングに対応してない。 ●本機でWi-Fi機能はご使用になれません。お使いのスマートフォンのテザリング対応については、スマートフォンの販売店に確認してください。	—
登録したスマートフォンが自動的に本機と再接続されない	
●本機およびスマートフォンのWi-Fi機能を有効にしてください。	(P.70)
●スマートフォンを操作してWi-Fiテザリング(APモード)を設定してください。	—
本機に接続できない	
スマートフォンが本機に機器登録されていない。	
●機器登録してください。	(P.69)
●ステータスバーのWi-Fiの接続状態を確認してください。	(P.22)

こんなメッセージが出たときは

文章で画面に表示される、主な確認／エラーメッセージの例です。
エラーメッセージが表示された場合は、処置の説明に従ってください。

■ か

内 容
このファイルは再生できません。
再生できない形式の音楽データを再生した。 ●ファイルを確認してください。
再生できない形式の動画データを再生した。 ●ファイルを確認してください。
このSDカードは書き込み禁止です。
SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチがロック側(LOCK)になっている。 ●書き込み禁止スイッチを解除してください。

■ さ

内 容
再生可能なファイルがありません。
異常のある動画を再生した。 ●ファイルを確認してください。
再生できるファイルがない。 ●再生できるファイルのあるメディアを挿入してください。
車速信号が検出できません。 車速信号コードの接続をご確認ください。
●お買い上げの販売店に依頼し、車速信号コードまたは車速信号中継コードの接続を確認してください。
受信できません (0020)
地上デジタル放送/ワンセグの受信レベルが低い。
受信できません (E202)
地上デジタル放送/ワンセグの電波を受信できていない。
受信できません (E203)
地上デジタル放送/ワンセグの受信レベルが非常に低い。 放送休止のチャンネルを見ている。

内 容

情報を受信していません。

VICS情報がありません。

- FM VICSチューナーの周波数設定を確認してください。

走行中はスクロールできません。

市街地図を表示した状態で、走行中に地図をスクロールした。

- 安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてご覧ください。

パーキングブレーキをかけているにもかかわらず、メッセージが表示される場合は、サイドブレーキコードが正しく接続されていない。

- **お買い上げの販売店に依頼し、サイドブレーキコードの接続を確認してください。**

挿入されたディスクの再生ができません。

ディスクが汚れている、裏返しになっている。

ディスクが音楽用でない、録音されていない。

ディスクに傷が付いている。

再生できないディスクを使用している。(P.105)

- ディスクを確認してください。

■ た

内 容

電源を入れ直してください。

アンプに異常が発生した。

- いったん車のエンジンを止めて、再度エンジンをかけてください。

電話帳データの件数が多すぎます。

最大2000件の電話帳データを読み込むことができます。

電話帳データの件数が多すぎます。

- 最大2 000件の電話帳データを読み込むことができます。

ドライブレコーダーとの接続を確認してください。

ドライブレコーダーと正しく接続されていない。

- ドライブレコーダーとの接続を確認してください。

■ は

内 容

配線の不良または機器の故障の可能性があります。

お買い上げの販売店またはお近くのサービス窓口にご相談ください。

正しく配線されていない。

- **配線を確認してください。**

本機が故障している。

- **お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」に修理を依頼してください。**

DC24 V車に取り付けている。

- **ACCをOFFにしたあと、電源コード/接続ハーネスを抜いて本機を取り外してください。**

本機に接続している iPod/USB 接続用中継ケーブルに異常がありました。

ケーブルにキャップをした後、電源を入れ直してください。

ケーブルが金属物に触れている。

- 金属物から離してください。

● 本機の接続には、別売の iPod/USB 接続用中継ケーブル (CA-LUB200D) と Apple 社純正のケーブルを使用してください。

- 接続している機器や iPod・USB 接続ケーブル (別売品) に異常がないことを確認してください。

- **それでも正常に戻らない場合は、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。**

■ ら

内 容
<p>ルート探索ができません。</p> <p>極端に長い道のりのルートを探索しようとした。 ● 目的地、経由地を近くに設定して、もう一度ルートを探索してください。</p>
<p>録音可能な容量を超えました。 これ以上録音できません。</p> <p>SDメモリーカードに十分な空き容量がない。 ● 不要な音楽データを削除してください。</p>
<p>録音できませんでした。 SDカードを確認し、再度録音してください。</p> <p>SDメモリーカードが本機に挿入されていない。 ● SDメモリーカードを本機に挿入してください。</p>

■ S

内 容
<p>SDカードの書き込みができませんでした。 SDカードを確認してください。</p> <p>SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチがロック側 (LOCK) になっている。 ● 書き込み禁止スイッチを解除してください。</p>

■ 記号

内 容
<p>⊘</p> <p>ディスクまたは本機で禁止されている操作です。</p>

本体リセット機能について

画面が正しく表示されない、操作しても反応しないなど正常に動作しないときは、いったん車のエンジンを止めて、再度エンジンをかけてください。
 それでも正常に戻らない場合は、**AUDIO**を15秒以上押して本体リセットを行い、再起動させてください。
 ● セキュリティコードを設定している場合は、本機を再起動するとセキュリティコード入力画面が表示されます。(P.20)

結露について

冷暖房を入れた直後など、車内の急激な温度変化のために、本機内部のピックアップレンズやディスクに露(水滴)が生じることがあります。正常な動作をしない場合には、ディスクを取り出して、約1時間ほど放置してください。もし、何時間たっても正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」にご相談ください。

万一、故障や異常が起きたら

車を安全な場所に停車させて電源を切り、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」に修理をご依頼ください。お客様による修理は、絶対におやめください。
 ● 故障や異常の状況は、できるだけ具体的にご連絡ください。

テレビ・ラジオの受信について

車で移動して受信するため、家庭用のチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。また、受信環境や電波状況（電波の強さの変化、障害物、他の電波などの影響）により、最良な受信状態を維持できない場合があります。

- 放送方式（フルセグ/ワンセグなど）や放送局により、受信状態やエリアが変化します。
- 下記のような場所または状況では受信状態が悪くなる場合があります。
 - ・ 放送局から遠い
 - ・ 電波が遮られやすい場所（トンネルの中、山の陰やビルの谷間など）
 - ・ 電車の架線、高圧線、テレビやラジオ放送の送信所、ネオンなどが近くにある
 - ・ 無線用の送信アンテナが近くにある
 - ・ 車の電装品（パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコンのファンなど）が動作している場合
 - ・ 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など（パソコンやスマートフォンなど）を車内で使用したり、本機やアンテナおよびアンテナのコードに近づけた場合
- 受信状態が悪くなったときは次のような現象が起こることがありますが、故障ではありません。
 - ・ 映像や音声が乱れる（ノイズが発生したり、途切れる）
 - ・ 静止画面や黒画面となり音が出なくなる

お知らせ

- 本機はARIB（電波産業会）規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
 - 本製品は、B-CASカードを使用せずに地上デジタル放送を視聴できるコンテンツ権利保護専用方式*¹を採用しているため、B-CASカードを付属しておりません。
- *¹ コンテンツ権利保護専用方式は、地上デジタル放送のコンテンツ保護専用の方式です。詳しくは、下記サイトをご覧ください。
一般社団法人地上放送RMP管理センター
<http://www.trmp.or.jp/>

ディスクについて

再生できるディスク

本機では、下記のディスク・フォーマットを再生できます。

ディスク	フォーマット				
	DVD-Video	DVD-VR	CD-DA	MP3 *3	WMA *3
DVD	○	—	—	—	—
DVD-R/RW *1	○	○	—	—	—
CD	—	—	○	—	—
CD-R/RW *2	—	—	○	○	○

* 1 本機でご使用になる前に、記録した機器でファイナライズしてください。

* 2 本機でご使用になる前に、記録した機器でクローズセッションしてください。

* 3 MP3 PRO、MP3i、WMA Voiceには対応していません。

お知らせ

- ディスク側の制約により、本書の操作説明どおりに動作しない場合があります。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。
- 記録状態、記録方法、記録機器やファイルの作りかたによって、再生できない場合や操作方法が異なる場合があります。

コピーコントロールCDについて

パソコンなどによるコピー防止が施された音楽CDは、本機での再生や録音は保証できません。通常のCD再生には支障がなく、コピーコントロールCDの再生のみに支障がある場合は、そのCDの発売元にお問い合わせください。

DVD-R/RW・CD-R/RWについて

- 使用したライティングソフトやドライブ、またその組み合わせによって、正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。
- レコーダーで記録したディスクは、その特性・汚れ・指紋などにより、再生できない場合があります。
- 通常のDVD、音楽CDに比べ高温多湿環境に弱いため、長時間の車内環境において劣化し、再生できない場合があります。
- マルチセッションで書き込まれたディスクや、形式の異なるデータが混在しているディスク（CD-Extra、CD-DAとMP3/WMAが混在したディスクなど）は、正常に再生できない場合があります。また、バケットライト方式で書き込まれたディスクは正常に再生できないことがあります。書き込みには、ディスクアットワンスをおすすめします。
- ディスクの特性により読み取れない場合があります。
- DVD-RW、CD-RWは、挿入してから再生が始まるまで、通常のディスクと比べて時間がかかる場合があります。
- MP3/WMAファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。
- 片面2層のDVD-R、また録画/編集に使用したレコーダーやディスクによっては、正常に再生できない場合があります。

ディスクに記載されているマークについて

■ リージョン番号

- 発売地域ごとにディスクとプレーヤーに割り当てられた番号です。ディスクとプレーヤーのリージョン番号が一致しないと再生できません。
 - 製作者の意図により特定の地域・国で再生不可と認定されているディスクは、再生できない場合があります。
 - 本機のDVDのリージョン番号は、「2」です。
- 「2」(2を含むもの)または「ALL」が表示されているディスクが再生できます。



■ 字幕言語数



■ 音声言語数



■ アンクル数



■ 画面サイズ(横:縦の比)

映し出される映像のサイズは、画面比率の設定とディスク側の画面サイズによって異なります。

4:3の標準サイズ^(4:3)

レターボックス^(LB)

16:9のワイドサイズ

画面サイズが標準(4:3)のときは、レターボックスで再生されます。^(16:9 LB)

画面サイズが標準(4:3)のときは、パン&スキャンで再生されます。^(16:9 PS)

再生できないディスク

- 8 cmディスク*¹
 - NTSC以外の方式(PAL、SECAM方式など)で記録されたディスク
 - ファイナライズされていないDVD-R/RW
 - クローズセッションされていないCD-R/RW
 - DVD-ROM
 - DVD+R
 - DVD+RW
 - DVDオーディオ
 - DVD-RAM
 - CD-ROM
 - フォトCD
 - CD-G
 - ビデオCD
 - CDV
 - SVCD
 - SACD
 - CD-EXTRA*²
 - VSD
 - CVD
 - DualDisc*³
 - DTS-CD
 - HD DVD-Video
 - HD DVD-R
 - HD DVD-RW
 - HD DVD-ROM
 - HD DVD-RAM
 - DIVX Videoディスク など
- *1 シングルアダプターも使用できません。無理に挿入しないでください。故障の原因となります。
- *2 ファーストセッションが音楽データ(CD-DA)の場合は、再生できます。
- *3 ディスクにキズが付いたり、ディスクが詰まって本機から取り出せなくなるおそれがあります。

ディスクの取り扱い

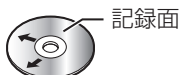
■ 持ちかた

記録面に触れないように持つ



■ ディスクが汚れたら

水を含ませた柔らかい布で拭いたあと、乾いた布で拭く



内側から外側へ拭く

- 回転する方向に拭かないでください。
- ベンジンやシンナー、レコードクリーナー、静電防止剤を使用しないでください。

■ 置き場所について

以下の場所にディスクを置かないでください。

- 長時間直射日光の当たるところ(車のシート、ダッシュボードの上など)
- 暖房器具の熱が直接当たるところ
- 湿気やゴミ・ほこりの多いところ
- 腐食性のある外気に触れるところ
- 強い静電気・電氣的ノイズの発生しやすいところ

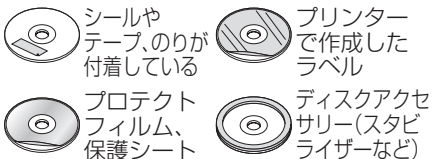
長時間使用しないときは

- 必ず本機から取り出してください。
- ゴミなどの汚れやキズ・そりなどを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。

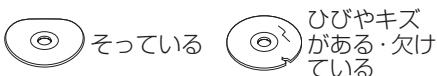
使用できないディスクについて

下記のディスクは使用しないでください。本機の内部で引っ掛かるなどして、ディスクの破損や本機の故障の原因となります。

ラベルなどを貼り付けたディスク



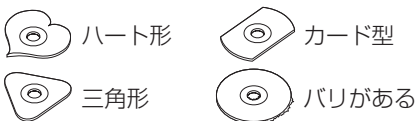
破損・変形したディスク



透明なディスク



円形以外の特殊な形状のディスク



SDメモリーカード・USBメモリーについて

SDメモリーカードについて

■ 本機で使用できるSDメモリーカード

※本書では特にことわりのない限り、下記のメモリーカードを「SDメモリーカード」と表記しています。ただし、microSDカードと記載している場合は、microSDXCカード/microSDHCカード/microSDカードを指します。miniSDカードと記載している場合は、miniSDカードを指します。

- SDXCメモリーカード(2 TB以下)*1
 - SDHCメモリーカード(32 GB以下)*1
 - SDメモリーカード(2 GB以下)
 - microSDXCメモリーカード(2 TB以下)*1*2
 - microSDHCメモリーカード(32 GB以下)*1*2
 - microSDメモリーカード(2 GB以下)*2
 - miniSDメモリーカード(2 GB以下)*2
- *1 SD規格準拠カードのみ使用できます。
*2 カードをSDメモリーカード挿入口へ挿入するときは、必ずカードに付属の専用アダプターを装着してください。取り出すときも、必ずアダプターごと取り出してください。

■ SDメモリーカードを使用する前に

本機で初期化してください。(P.85)
または、パソコンで「SDフォーマッター」(フォーマットソフトウェア)を使って初期化してから使用してください。SDフォーマッターについては、下記サイトをご覧ください。

http://panasonic.jp/support/sd_w/download/

お知らせ

- 規格に準拠したSDメモリーカードでも、本機では使用できない場合があります。
- 無線LAN内蔵のSDメモリーカードは使用できません。

USBメモリーについて

■ 本機で使用できるUSBメモリー

- USBマストレージ規格準拠
- 容量:32 GB以下

- ファイルシステム:FAT16、FAT32
- USBコミュニケーションフォーマット:USB2.0
- パソコンと接続時、リムーバブルディスクとして認識されるもの
- USBメモリー本体にセキュリティがかかっていないもの

お知らせ

- 規格に準拠したUSBメモリーでも、本機では使用できない場合があります。正常に動作しないときは、接続したUSBメモリーを本機から取り外してください。

SDメモリーカード・USBメモリーの取り扱いについて

- 読み書きしているときに以下のことはしないでください。
 - ・SDメモリーカードを取り出す
 - ・USBメモリーを取り外す
 - ・機器の電源を切る
- 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどしないでください。
- データ消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 長時間使用すると、SDメモリーカード・USBメモリーが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- SDメモリーカード・USBメモリーには寿命があり、長期間使用すると書き込みや削除などができなくなる場合があります。
- SDメモリーカード・USBメモリーが不良品の場合、正常に動作しない場合があります。
- SDメモリーカード・USBメモリーの端子部を手や金属で触れたり、汚したりしないでください。
- SDメモリーカードに書き込むときは、書き込み禁止スイッチを解除してください。
- SDメモリーカードに貼られているラベルをはがさないでください。
- SDメモリーカードにシールやラベルを重ねて貼り付けしないでください。
- SDメモリーカードは、本機から取り出したら、必ずケースに収納してください。

データ作成時の留意点

音楽データについて

音楽データの規格について

■ MP3

項目	内容
規格	MEPG-1 Audio Layer3、MPEG-2 Audio Layer3
拡張子	mp3、MP3
ビットレート	<ul style="list-style-type: none"> ● MPEG-1 Audio Layer3 32 kbps/40 kbps/48 kbps/56 kbps/64 kbps/80 kbps/96 kbps/112 kbps/128 kbps/160 kbps/192 kbps/224 kbps/256 kbps/320 kbps/VBR ● MPEG-2 Audio Layer 3 8 kbps/16 kbps/24 kbps/32 kbps/40 kbps/48 kbps/56 kbps/64 kbps/80 kbps/96 kbps/112 kbps/128 kbps/144 kbps/160 kbps/VBR ※free format bitstream/forbiddenは非対応
ビットレート	<ul style="list-style-type: none"> ● MPEG-1 Audio Layer3 32 kHz/44.1 kHz/48 kHz ● MPEG-2 Audio Layer3 8 kHz/11.025 kHz/12 kHz/16 kHz/22.05 kHz/24 kHz
サンプリング周波数 チャンネル	2 CH/1 CH (Stereo/Joint Stereo/Dual Channel/Single Channel)
タグ情報	ID3 タグ Ver.1 (Ver.1.0/Ver.1.1)、ID3 タグ Ver.2 (Ver.2.2/Ver.2.3/Ver.2.4) : タイトル、アーティスト名、アルバム名

■ WMA

項目	内容
規格	Microsoft Windows Media Audio Decoder Ver.8/Ver.9 std/Ver.9 Lossless/Ver.10 pro 2 CH 準拠
拡張子	wma、WMA
ビットレート	CBR : 5 kbps ~ 320 kbps VBR : Peak 384 kbps
サンプリング周波数 チャンネル	8 kHz/11.025 kHz/16 kHz/22.05 kHz/32 kHz/44.1 kHz/48 kHz 2 CH、1 CH(Stereo/Mono)
タグ情報	WMA タグ : タイトル、アーティスト名、アルバム名

■ AAC

項目	内容
規格	MPEG-4/AAC LC(Low Complexity)、MPEG-2/AAC LC(Low Complexity)、HE-AAC Ver.1、HE-AAC Ver.2、Enhanced Low Delay AAC
拡張子	aac、AAC、m4a、M4A ※iTunes 以外で作成されたファイルは動作保証外 ※DRM 認証つきファイルは対象外
ビットレート	8 kbps ~ 320 kbps/VBR
サンプリング周波数	8 kHz/11.025 kHz/12 kHz/16 kHz/22.05 kHz/24 kHz/32 kHz/44.1 kHz/48 kHz
チャンネル	2 CH、1 CH(Stereo/Mono)
タグ情報	AAC タグ、ID3 タグ Ver.1(Ver.1.0/Ver.1.1)、ID3 タグ Ver.2(Ver.2.2/Ver.2.3/Ver.2.4) : タイトル、アーティスト名、アルバム名

■ FLAC

項目	内容
規格	FLAC (Free Lossless Audio Codec)
拡張子	flac
量子化ビット	16 bit/24 bit
ビットレート	最大 9 216 kbps
サンプリング周波数	16 kHz/22.05 kHz/24 kHz/32 kHz/44.1 kHz/48 kHz/88.2 kHz/ 96 kHz/176.4 kHz/192 kHz
チャンネル	Stereo/Mono
タグ情報	タイトル、アーティスト名、アルバム名

■ WAV

項目	内容
規格	RIFF waveform Audio Format
拡張子	wav
量子化ビット	16 bit/24 bit
サンプリング周波数	8 kHz/11.025 kHz/16 kHz/22.05 kHz/24 kHz/32 kHz/44.1 kHz/ 48 kHz/88.2 kHz/96 kHz/176.4 kHz/192 kHz

- m3u/MP3i フォーマット/MP3 PRO フォーマット/ディエンファシスには対応していません。
- WMA Voiceには対応していません。
- DRM (デジタル著作権管理)には対応していません。
- 著作権保護された音楽ファイル (SD-Audio規格など) は再生できません。
- 2チャンネルを超えるチャンネルを持つ音楽データは再生できません。
- ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。
- WAVファイルはLPCM (整数型) に対応しています。AIFFフォーマット/WAVE64フォーマット/RF64フォーマット/ADPCMフォーマット等には対応していません。
- FLACファイルは1 024から4 608のブロックサイズに対応しています。

お知らせ

- ディスク内のファイルをチェックしている間、音は出ません。
- ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3/WMA/AAC/FLAC/WAVファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
- エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- MP3/WMA/AAC/FLAC/WAVファイルの作成の詳細はエンコーダソフトや使用するオーディオ機器の説明書を参照してください。
- MP3/WMA/AAC/FLAC/WAVファイルの作成ソフトやテキスト編集ソフト、ライティングソフトやその設定によっては正規のフォーマットと異なるファイル、ディスクが作成される場合があり、テキスト情報表示や再生ができない場合があります。クローズセッションしていないディスクは再生できません。
- 再生できないファイルがある場合、そのファイルはスキップします。(再生しません。)
- 不正なファイル (例えばMP3以外のファイルに“MP3”の拡張子を付けたファイル) は、誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。音楽データ以外のファイルに音楽データの拡張子を付けしないでください。MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV以外の形式のファイルは動作を保証していません。

再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

- 32 kHz以下のサンプリング周波数のMP3/WMA/AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- 64 kbps以下のビットレートで再生されたMP3/WMA/AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- 一般的にビットレートが高くなるほど音質は良くなります。一定の音質で音楽を楽しんでいただくためにはMP3では128 kbps以上、WMAではできるだけ高いビットレートで記録されたファイルの使用をおすすめします。
- フリーフォーマット・可逆圧縮フォーマットには対応していません。
- 音楽配信サイトで入手できる楽曲は著作権保護がかけられているものがあります。著作権保護された楽曲は有料・無料にかかわらず本機では再生できません。

音楽ファイルの再生について

- ハイレゾ品質で音楽を再生するには本機からスピーカーまですべてハイレゾ対応製品でカーオーディオシステムを構成することをお勧めします。

動画データについて

本機は、SDメモリーカードまたはUSBメモリーに保存した動画データを再生できます。

動画データの規格について

■ コンテナフォーマット

- MP4

項目	内容
拡張子	mp4、m4v
映像コーデック	MPEG-4(ISO/IEC 14496 Part.2)、H.264/MPEG-4 AVC
音声コーデック	MP3、AAC (規格の詳細は音楽データと同じ (P.108))

- AVI

項目	内容
拡張子	avi
映像コーデック	MPEG-4(ISO/IEC 14496 Part.2)、H.264/MPEG-4 AVC、VC-1
音声コーデック	MP3、AAC、WMA (規格の詳細は音楽データと同じ (P.108))

- 極端にファイルサイズの大きいファイル、小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
 - リストに表示される順番はメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客様が想定している順とは異なった順で表示されることがあります。
- ※正しい順番で表示するには、ファイルの先頭に“001～254”など番号をつけてパソコンで期待する順番(名前順)などに並べ、フォルダごと一度にメディアに書き込むことをおすすめします。メディア上で番号を編集しても表示される順番は変わりません。

ジャケット写真について

- 3 MB以下のJPEG/PNG/BMP形式の画像に対応しています。
他の形式の場合、正常に表示できません。
- 音楽ファイルに付けられている画像データのサイズや解像度が大きい場合、正常に再生や表示ができなかったり、音飛びの原因となる場合があります。
 - 130×130ピクセル未満の画像は表示エリアより小さく表示されます。
 - 1つのファイルに複数の画像のジャケット写真をファイルに登録してある場合、正常に表示できない場合があります。

●MKV

項目	内容
拡張子	mkv
映像コーデック	MPEG-4(ISO/IEC 14496 Part.2)、H. 264/MPEG-4 AVC、VC-1
音声コーデック	MP3、AAC (規格の詳細は音楽データと同じ (P.108))

●ASF・WMV

項目	内容
拡張子	asf、wmv
映像コーデック	H.264/MPEG-4 AVC、VC-1
音声コーデック	WMA (規格の詳細は音楽データと同じ (P.108))

■映像コーデック詳細

●H.264/MPEG-4 AVC

項目	内容	
プロファイル/レベル	BaselineProfile/3、MainProfile/3.1	
最大解像度	720 × 480	1 280 × 720
最大ビットレート	10 Mbps	14 Mbps
最大フレームレート	30 fps	30 fps

●MPEG-4(ISO/IEC 14496 Part.2)

項目	内容	
プロファイル/レベル	SimpleProfile/5	
最大解像度	720 × 480	720 × 576
最大ビットレート	8 Mbps	8 Mbps
最大フレームレート	30 fps	25 fps

●VC-1

項目	内容		
プロファイル/レベル	AdvancedProfile/2	MainProfile/ Medium	SimpleProfile/ Medium
最大解像度	1 280 × 720	720 × 480	352 × 288
最大ビットレート	20 Mbps	10 Mbps	384 kbps
最大フレームレート	30 fps	30 fps	15 fps

- ビットレートが低いと、十分な画質・音質を得られない場合があります。
- 可変ビットレート (VBR) で作成されている場合、部分的にビットレートが高くなる場合があります。
そのような部分では音飛びやコマ落ちなどが起こる場合があります。
- 上記の仕様から外れたファイルは、再生できなったり、音飛びする可能性があります。
- 動画ファイルの作成方法・エンコーダソフトなどによっては再生できなったり、音声・映像が乱れる場合があります。
- 著作権保護された動画ファイル (SD-Video 規格など) は再生できません。

BLUETOOTHについて

■ 使用周波数帯

本機では、BLUETOOTH接続中は、2.4 GHz帯の周波数帯を使用します。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあり、その機器との電波干渉を防ぐため、下記事項に注意してください。

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどでの移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します。）があります。

- BLUETOOTHを使う前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認する。
- 万一、「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が生じた場合や、何かお困りのことが起きたときは電波の発射を停止した上、お買い上げの販売店または「サービスご相談窓口」へご相談ください。（P.127）

■ 機器設定（無線局の免許は不要です。）

本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。ただし、次のことは、法律で罰せられることがあります。

- 分解・改造をする
- 製品銘板をはがす

■ 使用可能距離

見通し距離約10 m以内でご使用ください。間に障害物がある場合や、建物の構造などにより、使用可能距離は短くなります。

■ 他機器からの影響

- 本機と他のBLUETOOTH対応機器や2.4 GHz帯を使用する機器の距離が近いと、電波干渉により、正常動作しない、雑音の発生など、不具合が生じる可能性があります。
- 放送局などが近く電波が強すぎる場合も同じです。

■ 使用制限

- すべてのBLUETOOTH対応機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- ワイヤレス通信するBLUETOOTH対応機器は、Bluetooth SIG, Inc.の定める認証が必要です。ただし、認証されていても対応機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法・表示・動作が異なる場合があります。
- ワイヤレス通信時は、使用環境などによりセキュリティが十分でない場合がありますのでご注意ください。（BLUETOOTH標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しています。）
- ワイヤレス通信時に発生したデータや情報の漏洩について、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 用途制限

- 本機のBLUETOOTHの各機能を使用するには、BLUETOOTH対応機器が下記のプロファイルに対応している必要があります。
 - BLUETOOTH Audio
 - Advanced Audio Distribution Profile (A2DP)
 - Audio/Video Remote Control Profile (AVRCP)
 - ハンズフリー通話
 - Hands-Free Profile (HFP)
 - 電話帳・発着信履歴の転送および自動転送
 - Phone Book Access Profile (PBAP)
 - 「NaviCon®」
 - Serial Port Profile (SPP)
- BLUETOOTH対応機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法・表示・動作が異なる場合があります。
- 電波の状態によっては、音が途切れたり雑音が入ったりする場合があります。

Wi-Fiについて

- 本機の無線機能の使用周波数帯は2.4 GHz帯です。変調方式としてDS-SS変調方式、OFDM変調方式を採用しています。想定与干渉距離は40 m以下です。本機は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。
- 同じ周波数を使用している他の無線機器との電波干渉を防ぐため、下記事項に注意してください。

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどでの移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します。)が運用されています。

- 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 - 万一、本機から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、すみやかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。
 - 何かお困りのことが起きたときは、お買い上げの販売店へご相談ください。
- 本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。
 - 本機の分解や改造をする
 - 本機に貼り付けてある製品銘板をはがす
 - 本機は、電気通信事業者(移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど)の通信回線(公衆無線LANを含む)に直接接続することはできません。本機をインターネットに接続するときは、必ず電気通信事業法の認定を受けた端末設備(ルーター、回線端末装置など)を経由して接続してください。
 - 本機はすべてのWi-Fiテザリング対応スマートフォンとのワイヤレス接続を保証するものではありません。

- 接続する機器はWi-Fi Alliance®の定める規格に適合し、認証を取得している必要があります。規格に適合していても、接続する機器の特性や仕様によっては接続できない、表示や動作が異なる、などの場合があります。
- 使用する環境(車内および車両周辺の環境)によっては、通信速度が低下するなど通信の状態が不安定になることがあります。
- 障害物(壁や床など)があると、通信の状態が不安定になったり接続できない場合があります。
- 電波の状態によっては、音が途切れたり雑音が入ったりする場合があります。
- BLUETOOTH機能と同時に使用すると、それぞれの通信の状態(接続や音声など)が不安定になることがあります。
- スマートフォンの電池残量低下により、Wi-Fi通信の状態が不安定になることがあります。
- Wi-Fiエリア内から出た場合は、通信が切断されます。
- 使用環境などによりセキュリティが十分でない場合がありますので、ご注意ください。
- 通信時に発生したデータや情報の漏洩について、当社は一切の責任を負いかねます。

■ Wi-Fiの規格とセキュリティ方式について

対応規格
IEEE 802.11b/g/n (2.4 GHzのみ)

対応セキュリティ方式
WEP
WPA 2™ - Personal
WPA 3™ - Personal

ナビゲーションシステムとは

ナビゲーションシステムとは、地図上に目的地や目的地までのルートを登録することにより目的地までの道案内をするシステムのことで、

自転車位置測位の仕組み

本機では、GPS衛星に加え「みちびき」の電波を受信して、自転車の位置を測位します。

■ GPS(Global Positioning System)

アメリカ国防総省が配備を進めた人工衛星を利用した位置検出システムです。高度21 000 kmの宇宙にある3つ以上の人工衛星からの電波を受信し、三角測量の原理を利用して測位を行います。

■ 現在地を測位するまでの時間

本機を最初にご使用になるときや、長時間ご使用にならなかったときは、自転車の現在地を測位するまでに、5分程度かかります。また、通常は見晴らしの良い場所(GPS衛星の電波をさえぎる建物や樹木のない場所)で、2分程度で測位します。電源を入れてすぐに走行すると測位するまでの時間が長くなるため、見晴らしの良い場所で測位ができるまで停車していることをおすすめします。

■ GPS信号を受信しにくい場所

次のような場所では受信できないことがあります。

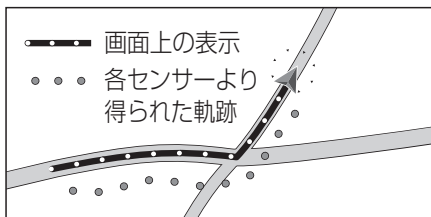
- トンネルの中
- 高架道路の下
- 高層ビルなどの間
- 樹木の間

■ 準天頂衛星システム「みちびき」

内閣府により整備が進められている、日本の衛星測位システムです。GPSを補い、より高精度で安定した測位を行います。

■ マップマッチング

GPSやジャイロなどによる測位には誤差があるため、現在地が道路以外の場所になる場合があります。マップマッチングは、誤差を補正して地図データ上の道路に自転車マークを表示させる機能です。



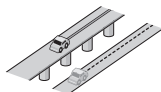
走行中の道路を誤って認識したとき(道路切換)

高速道路と一般道路が近くにある場合、自転車マークが実際と異なる道路に表示されることがあります。その場合は、道路切り換えを行うと自転車位置を修正することができます。

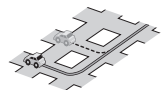
自転車位置精度について

■ 走行環境やGPS衛星の状態により、自転車マーク位置が正しく表示されない場合があります。

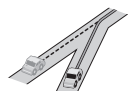
- 高速道路と一般道路が近くにある



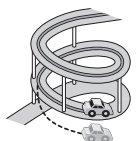
- 碁盤目状の道路を走行している



- 角度の小さなY字路を走行している



- らせん状の道路などを走行している



そのまましばらく走行すると、マップマッチングやGPS衛星からの情報を利用して自転車マーク位置は自動的に補正されます。

■ 下記の場合も、自転車マーク位置が正しく表示されない場合があります。

- エンジンスイッチON(電源ON)後、GPS信号を受信できるまで
- 本機を取り付けて初めて走行するとき
- タイヤを交換したとき、特に応急用タイヤを使用時
- フェリー、車両運搬車などで移動したあと
- 勾配の急な山岳などを走行しているとき

- 直線路を長い間走行したあとに、右左折したとき
- 道幅の広い道路で蛇行運転したとき
- 雪道・砂利道などの滑りやすい道路を走行しているとき、またはタイヤチェーン等を装着して走行しているとき
- 地下駐車場や立体駐車場で、らせん状の道路を走行したあと一般道に出たとき
- エンジンスイッチOFF(電源OFF)状態で、ターンテーブルなどで旋回したとき
- (車種によっては、低速(数km/h)で走行時に車速信号を検出できないことがあるため)駐車するときや渋滞区間を走行中など、低速での走行状態が続くとき

■ GPS衛星はアメリカ国防総省により管理されており、故意に位置精度を落とすことがあります。このようなときは、**自車マークがずれる場合があります。**

■ 3Dセンサーによる高架判定について

自車が都市高速に入ったときなど車の上下移動を3Dセンサーで感知して、自車位置を測位します。(高架判定)

- 3Dセンサーによる高架判定は、センサーの補正が完了後に動作可能です。車両信号情報画面で「3D」の学習レベルの状態を確認してください。
- 高速道路など一定速度で走行が続くような場合、補正完了まで50 km程度の走行を要する場合があります。
- 道路状況や走行状況により正しく高架判定できない場合があります。(道路の傾斜がゆるやか、発進・停車の繰り返し、急ハンドルによる車の横揺れなど)
- 下記の場合には、必ず車両信号情報画面でセンサー学習値初期化を選んでください。
 - ・別の車に載せかえた
 - ・取付位置を変更した
- 3Dセンサーの高架判定は、地図データと3Dセンサーからの情報で行います。(一部地域のみ)

逆走検知警告について

■ 下記のような場合は、逆走していても警告案内を行わないことがあります。

- 本機の地図に収録されていない道路、または形状が変わった道路を走行しているとき
- 形状が複雑なIC付近を走行しているとき
- スマートICのあるSA・PA、その他特定のSA・PA内を走行しているとき
- 本機が故障している、または車両信号情報が正常でないとき

- GPSアンテナ上に障害物があり、GPS信号が正常に受信できていないとき
- トンネル、高架橋、高層ビルなどの遮蔽物により、GPS信号が正常に受信できていないとき
- 本機の地図画面上的の自車マークの位置と、実際の自車位置が違ふとき
- 直前に自車位置、または方位の補正が行われたとき
- 急なUターンをしたとき
- 周囲に分岐車線・合流車線の無い本線上でUターンしたとき
- 以前、逆走検知警告が表示された地点で「ここでは案内しない」のチェックボックスをONにしていた場合

■ 下記のような場合は、逆走していても警告案内を行うことがあります。

- 本機の地図に収録されていない道路、または形状が変わった道路を走行しているとき
- 本機の地図画面上的の自車マークの位置と、実際の自車位置が違ふとき
- 本機が故障している、または車両信号情報が正常でないとき
- 駐車スペースがある料金所、または手前でUターン可能な料金所でUターンをしたとき
- 警察や道路管理会社の誘導によりUターンをしたとき

ルート探索・ルート案内について

探索されたルートは参考ルートであり、お客様の意図したものと違う場合があります。

■ 次のような場合は、故障ではありません。

- 通行不可能な歩道、階段などを含めたルートを作ることがあります。
- 新道の開通などにより通行できない場合があります。
- 点線で表示されている道路は、地図データ作成時点での建設予定道路のためルート探索できません。
- 実際に通行できない道を表示する場合があります。
- 再探索してもルートが変わらない場合があります。
- ルートが渋滞している場合があります。
- 目的地まで道路がなかったり、細い道しかない場合は、目的地から離れた所までしかルート表示しない場合があります。
- 高架下の一一般道路の案内を行う場合があります。逆の場合もあります。
- Uターンするルートを表示する場合があります。

- 交差点で曲がるのに、案内されない場合があります。
- 交差点名称が案内されない場合があります。
- 右左折案内が実際の道路形状と異なる案内をすることがあります。
- 案内ルートを外れて手前の交差点等で曲がったときなどに音声案内される場合があります。
- 方面案内が表示/案内されない高速道路・有料道路があります。
- 交差点拡大図が実際の道路形状と合わないことがあります。
- 案内距離が多少ずれることがあります。

電話番号検索の精度について

検索される場所によっては、丁目・番地・号の情報(ピンポイント情報)がないため、正確に検索できないことがあり、検索された場所と実際の場所が離れている場合があります。

名称・ジャンル・周辺施設検索の精度について

検索される場所によっては、丁目・番地・号まで正確に検索できないことがあり、検索された場所と実際の場所が離れている場合があります。

マップコードとは

株式会社デンソーが、カーナビゲーションで簡単に目的地を設定できるようにするために開発した、日本全国のあらゆる場所を最大13桁の数字で表したものです。各種情報機器や各種情報メディアで簡単に位置情報を伝達したり、住所や電話番号で表せない場所を特定することができます。詳しくは、マップコード公式サイトをご参照ください。

<https://www.denso-communications.jp/mapcode/>

ETC2.0(電波ビーコン5.8 GHz)について

電波ビーコン5.8 GHzを受信するには、別売のETC2.0車載器が必要です。

■電波ビーコン5.8 GHzの受信について
下記のような状況では、受信できない場合や、誤って受信してしまう場合があります。

- 大型車と並走

- 高速高架道路の下(高速高架下の一般道を走行している場合に、高速道路の電波ビーコン5.8 GHzを受信してしまう場合があります。)
- 雪などの悪天候
- フロントガラスの汚れ

お知らせ

- 赤外線反射ガラスまたは電波不透過ガラス装着車両では、電波ビーコン5.8 GHzの受信ができないことがあります。取り付けの際は販売店にご相談ください。

FM多重/光ビーコンについて

光ビーコンを受信するには、別売の光ビーコン対応ETC2.0車載器が必要です。

■ FM多重放送の受信について

下記のような場所では受信できない場合があります。

- トンネルの中
- 高架道路の下
- 高層ビルなどの間
- サービスエリア外

お知らせ

- FM多重の場合、一定周期で情報が更新されるので表示するデータが揃うのに時間がかかる場合があります。(約3分)
- 車のエンジンをかけた(またはACCをONにした)あと、しばらくは情報が表示されません。

■ 光ビーコンの受信について

下記のような状況では、受信できない場合や、誤って受信してしまう場合があります。

- 雪などの悪天候
- アンテナ受信部の汚れ
- フロントガラスの汚れ
- アンテナの上に物を置く
- 他の車両と並走して通信エリアに進入したとき
- 太陽光がアンテナ受光面に当たっているとき

お知らせ

- 赤外線反射ガラス装着車両では、光ビーコンの受信ができないことがあります。取り付けの際は販売店にご相談ください。

VICSについて

- VICSの車載機の動作、その他に関するもの
- VICSのサービスエリアに関するもの
- その他、上記に類するもの

これらの内容は、お買い上げの販売店またはお近くの「サービスご相談窓口」にお問い合わせください。

VICSやTSPSの概念、計画、または表示された情報内容に関することは、VICSセンターへお問い合わせください。

(ただし、地図表示型の表示内容は除く)

VICSセンター

受付時間 9:30～17:45

(土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く)

電話番号 0570-00-8831

● 全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。

● PHS、IP電話等からはご利用いただけません。

FAX番号 03-3562-1719(24時間受付)

VICS削除リンクに関する告知

VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)を地図上に表示するためあらかじめ本機に情報提供用の単位(以下、VICSリンクと称します)を設定しています。道路形状や交通施設の変化にとまらぬ、より正確な情報提供をするため、必要に応じ、毎年、VICSリンクの追加・変更が行われます。過去からのVICSリンクの情報を永続的に提供することは容量などの理由で不可能です。追加・変更が行われた場合、該当のVICSリンクについて3年間は情報提供が行われますが、それ以降は、情報提供が打ち切られることになっております。

このため、VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)の表示は「本製品」発売後、3年程度で一部の道路において情報が表示されなくなることがあります。

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章 総則

(約款の適用)

第1条 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(以下「当センター」といいます。)は、放送法(昭和25年法律第132号)第147条の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款(以下「この約款」といいます。)を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

- (1)VICSサービス: 当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
- (2)VICSサービス契約:当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約
- (3)加入者:当センターとVICSサービス契約を締結した者
- (4)VICSデスクランブラー: FM多重放送局からのスクランブル化(攪乱)された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICSサービスの種類)

第4条 VICSサービスには、次の種類があります。

- (1)文字表示型サービス:文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (2)簡易図形表示型サービス:簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (3)地図重畳型サービス:車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICSサービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章 契約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICSデスクランブラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域(全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内)とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICSサービスは、VICS対応FM受信機(VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機)を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICSサービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。

- 2 第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。

- 2 当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免費)

第17条 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。

但し、当センターは、当該変更においても、変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

- 2 VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表]

視聴料金 330円(税込み)
ただし、車載機購入価格に含まれております。

令和2年12月1日改訂

さくいん

あ行

あかさたなタッチキー	35
頭出し	49、50、51、52、56、 61、63、65
アングル	48
安全・安心運転サポート	25
案内音声設定	84
案内音量の車速連動	84
案内時のAudio音量消音	84
案内出カスピーカー	84
案内スタート	36
案内ストップ	36
案内ルート	24
一時停止	48、65
一時停止案内	29
一般道速度超過警告	29
エリアモード	45
エンター	49
オーディオ情報・設定メニュー	16
音楽CD	49
音楽データ	108
音質	53
音声	48
音量	12

か行

カーソル	23、48
カーソルパネル	43
カード入れ忘れ案内	83
カード抜き忘れ案内	83
カーブ案内	29
ガイドダンス	28
カメラ設定	79
機器登録	67
規制	29
季節規制考慮	28
逆走注意アラーム	26
携帯電話切替	72
経由地マーク	24
現在地画面	21
検索結果画面	35
広域	30
後席用モニター	77
交通情報	46
合流案内	29
ここに行く	24、36、38

さ行

サーチ	49
再生時間	48
残距離/到着時刻表示	24
市街地図での盗難多発地点表示案内	84
事故多発地点案内	29
自車位置	11
自車マーク	21、29
事象・規制マーク	34
システム情報・設定メニュー	16
施設名	23
自宅	14
指定方向外禁止案内	29
自動録音	54
字幕	48、48

ジャケット写真	110
車種設定	13
住所	37
渋滞回避	28
渋滞情報	34
周波数	45
周辺検索	24
縮尺	30
縮尺表示	21
出荷状態に戻す	85
手動録音	54
消音	12
詳細	30
ショートカット	15
初期化	19
新旧ルート比較画面を表示	81
信号情報活用運転支援システム(TSPS)	77
数字パネル	44
スクロール	30
ステータスバー	21、22
ストラダチューン	28
スマートインター考慮	28
スマートフォン連携	73
スロー再生	49
制限速度案内	29
セキュリティ	19
セキュリティコード	19
セキュリティ設定	84
設定	23
選局	43
選局パネル	43
選曲モード	56、65
全曲録音	54
全候補初期化	37
選択曲録音	54
操作音	83

た行

タイトルメニュー	47
タイトルリスト	47
ダイヤル	72
ダイレクトボタン設定	84
立寄り	24
端末情報	74
地域	43
地図色	29
地図更新	75
地図モード画面	23
地点登録	24
地点編集	24
地点メニュー	24
着信履歴	73
チャンネルリスト	43
駐車場マーク	34
停止	11
ディスク	104
データベース再検索	58
データ放送	44
デジタルテレビ初期設定	43
テレビ	43
電話帳	72
電話に出る	71
電話を切る	71

その他

動画	62
動画データ	110
到着予想時刻の計算方法	81
盗難多発地点	20
盗難多発地点 表示案内	84
道路切換	114
登録地	40
トーン	72
時計表示	83
トップメニュー	14, 47
トップメニューカスタマイズ	18
ドライブレコーダー	80

な行

ナビ案内音	12
ナビ情報・設定メニュー	17
ナビ設定	81
ノースアップ	31

は行

ハイウェイモードの表示	82
発信履歴	73
早送り	49, 50, 51, 52, 56, 61, 63, 65
早戻し	49, 50, 51, 52, 56, 61, 63, 65
ハンズフリー	72
ビーコン受信音	83
ビーコン割込み	83
ビーコン割込み設定	83
標識拡大表示	29
フォルダ	51
踏切案内	29
プリセットメモリー	45
プレイリスト	47
分岐案内頻度	28
ヘディングアップ	31
方位マーク	21
方面看板	21
方面看板の表示	82

ま行

マップ	29
マップコード	23, 116
右画面表示	23
右地図表示	32
道幅優先	28
ミュート	12, 72
名称	37, 37
目的地	39
目的地方向直線表示	24
目的地方向を表示	81
目的地マーク	24
文字サイズ	29

や行

ユーザー情報設定	44
郵便番号	43
有料道速度超過警告	29
有料道路優先	28

ら行

ラジオ	45
ランダム	50, 51, 52, 56, 62, 63, 65
ランチャー	23

ランドマーク	21
リアビューカメラ	78
リジューム	48
リターン	48
リピート	50, 51, 52, 56, 62, 63, 65
ルート	28, 36
ルート案内に関する設定	81
ルート学習	28
ルート学習結果の初期化	81
ルート消去	36
ルート編集	39
レーン案内	29
録音	53
録音管理	53

数字・記号・アルファベット

10キー	48
50m市街地図表示	81
AAC	61
Audio ON/OFF	42, 42
Audio画面中の案内割込み	82
BLUETOOTH Audio	52
BLUETOOTH	112
DVD-Video	47
DVD-VR	47
ETC2.0車載器	77
ETC2.0割込み設定	83
ETC音声案内	83
ETCレーンの表示	82
FLAC	61
Gracenote	58
iPod	64
MEMORY MUSIC	56
MP3	51, 61
NaviCon®	73
SA/PA マーク	34
SDカードの初期化	85
SDメモリーカード	107
TILT	13
TVの初期化	85
USBメモリー	61, 107
VICS	29
VICS一般道情報表示	29
VICS考慮	28
VICS渋滞・混雑情報表示	29
VICS渋滞なし情報表示	29
VICS情報マーク	34
VICS タイムスタンプ	21, 33
VICS駐車場情報表示	29
VICS統計情報表示	29
VICS範囲表示	29, 34
WAV	61
WMA	51, 61

商標などについて

- Microsoft, Windows, Windows Media and .NET Framework are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.
- This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.
- 「VICS」および「VICS WIDE」は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- 「ETC」、[ETC2.0]は、一般財団法人ITSサービス高度化機構の登録商標です。
- ITSスポットは、国土交通省の登録商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Audio、およびダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- BLUETOOTH®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、パナソニック株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。
- “DVD Logo”は、DVD フォーマットロゴライセンスング株式会社の商標です。
- “ゼンリン”および“ZENRIN”は、株式会社ゼンリンの登録商標です。
- “タウンページ”は、日本電信電話株式会社の商標です。
- 「マップコード」および「MAPCODE」は、株式会社デンソーの登録商標です。
- NaviConは株式会社デンソーの登録商標です。
- Android は、Google LLC の商標です。
- Wi-Fi®, Wi-Fi Protected Access® (WPA) はWi-Fi Alliance®の登録商標です。WPA2™、WPA3™はWi-Fi Alliance®の商標です。
- 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio License 及びAVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
 - 画像情報をMPEG-4 Visual、AVC規格に準拠して（以下、MPEG-4/AVCビデオ）を記録すること。
 - 個人的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4/AVCビデオ、または、ライセンスをうけた提供者から入手したMPEG-4/AVCビデオを再生すること。詳細についてはMPEG LA, L.L.C. (<http://www.mpegla.com>)をご参照ください。
- Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple products identified in the badge, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.
- Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.
- Apple, iPhone, iPod, iPod touch, and Lightning are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. The trademark “iPhone” is used in Japan with a license from Aiphone K.K.
- 本製品の説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは、各社の登録商標または商標です。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。



ソフトウェア、およびオープンソースソフトウェアについて

本製品には、以下のソフトウェアが含まれています。

- (1) パナソニック株式会社(「パナソニック」)により、またはパナソニックのために開発されたソフトウェア
- (2) パナソニックにライセンスされた第三者所有のソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2(「GPL」)に基づいてライセンスされたソフトウェア
- (4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1(「LGPL」)に基づいてライセンスされたソフトウェア
- (5) GPL, LGPL以外に基づいてライセンスされたオープンソースソフトウェア

■上記(3)、(4)に分類されるソフトウェアについては、それぞれ、以下のGPLおよびLGPL所定の条件をご参照ください。

GPL : <http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html>

LGPL : <http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html>

また、上記のGPL/LGPL ソフトに対応したソースコードは、以下のウェブサイトで、誰でも自由に入手することができます。

<http://car.panasonic.jp/oss/k01nfs91>

■上記(5)に分類されるソフトウェアには、以下のウェブサイトに掲載のライセンス条件が適用されるソフトウェアを含む様々なオープンソースソフトウェアのプログラム(OSS)が含まれています。

<http://car.panasonic.jp/oss/k01nfs91>

これらのOSSについてのライセンス条件その他の事項に関しては、以下のURLをご参照ください。

<https://panasonic.jp/car/navi/license/index.html>

■Gracenoteについて

音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote®社のホームページwww.gracenote.com をご覧ください。

- Gracenote, Inc.提供のCDおよび音楽関連データ: copyright © 2000 - present Gracenote. Gracenote Software, copyright © 2000 - present Gracenote. 本製品およびサービスには、Gracenoteが所有する1つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部のGracenote特許の一覧については、GracenoteのWebサイトをご覧ください。
- Gracenote, Gracenoteロゴとロゴタイプ, "Powered by Gracenote"ロゴは、米国およびその他の国におけるGracenote, Inc.の登録商標または商標です。

仕様

	CN-HE01D/CN-HA01D	CN-HE01WD/CN-HA01WD
電源		
電源電圧	DC12 V (試験電圧 13.2 V) マイナスアース	
消費電流	2.5 A 以下 (AUDIO OFF 時)	
液晶ディスプレイ		
画面寸法 (幅×高さ×対角)	7V 型ワイド 156 mm×80 mm×175 mm	
映像入力	RGB (ナビゲーション画面)	
画素数	2 764 800 画素 (縦 720×横 1 280×3)	
有効画素数	99.99 %	
表示方式	透過型カラーフィルター方式	
駆動方式	TFT (薄膜トランジスタ) アクティブマトリックス方式	
使用光源	内部光 (LED)	
タッチパネル	抵抗感圧式アナログタイプ(フィルム+ガラス)	
アンプ		
定格出力	18 W×4	
最大出力	50 W×4	
適合スピーカーインピーダンス	4 Ω (4 ~ 8 Ω 使用可能)	
接続端子		
カメラ入力レベル	映像 : NTSC 1.0 Vp-p(75 Ω RCA ピンジャック)/HD-TVI	
ビデオ出力レベル	映像 : NTSC 1.0 Vp-p(75 Ω RCA ピンジャック)	
ナビゲーションユニット		
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	178 mm×100 mm×184 mm (取付奥行き寸法 165 mm)	206 mm×104 mm×177 mm (取付奥行き寸法 161 mm)
質量	約 2.5 kg	
動作温度	-10 °C ~ +60 °C	
DVD プレーヤー		
信号方式	Y=1.0 Vp-p Cb=Cr=0.7 Vp-p (内部) NTSC 方式 1.0 Vp-p (出力)	
周波数特性	5 Hz ~ 22 kHz(サンプリング周波数 48 kHz)	
ワウ・フラッター	測定限界以下	
FM チューナー		
受信周波数	76.0 MHz ~ 95.0 MHz	
実用感度(SN 比、30 dB)	15 dB μ V以下	
SN 比(入力 54 dB μ V)	50 dB 以上	
ステレオ分離度(入力 60 dB μ V)	35 dB	

AM チューナー	
受信周波数	522 kHz ~ 1 629 kHz
実用感度 (SN 比、20 dB)	37 dB μ V 以下
地上デジタル TV チューナー	
受信可能放送	地上デジタル放送 (ワンセグ対応)
受信周波数	470 MHz ~ 710 MHz (13 CH ~ 52 CH)
入力信号レベル	-75 dBm ~ -20 dBm
入力インピーダンス	50 Ω
iPod/USB 中継ケーブル接続端子	
通信方式	USB
出力電圧	5 V 2 400 mA
BLUETOOTH	
対応規格	Bluetooth Ver.5.2
パワークラス	Class 2
対応プロファイル	HFP/A2DP/AVRCP/PBAP/SPP
対応コーデック	SBC, AAC
Wi-Fi	
対応規格	IEEE 802.11b/g/n(2.4 GHz のみ)
対応チャンネル	1 ~ 13 CH
出力	最大 +14 dBm
対応セキュリティ方式	WEP/WPA2-Personal/WPA3-Personal
GPS アンテナ	
形式	マイクロストリップ方式
コードの長さ	4 m
外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き)	26 mm × 14 mm × 30 mm
質量	約 50 g (コード含む)
受信周波数	1 575.42 MHz (C/A コード)
受信可能衛星	GPS, QZSS (準天頂衛星)
地上デジタルアンテナ	
コードの長さ	4 m
外形寸法 (幅 × 高さ)	118 mm × 81 mm
質量	約 170 g (コード含む)
出力インピーダンス	50 Ω

● 液晶ディスプレイのV型は、有効画素の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

- 本製品の仕様、画面表示、外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 寸法・質量はおおよその数値です。
- イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。
- 画面表示などの色は印刷物ですので実際と異なる場合があります。
- URLは、予告なく変更になることがあります。

保証とアフターサービス

よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは…

まず、お買い上げの販売店へご相談ください

お買い上げの際に記入されると便利です。

販売店名

電話 () -

お買い上げ日 年 月 日

修理をされるときは

「困ったとき」(P.86)でご確認のあと、なおらないときは、まず電源を切り、お買い上げ日と右の内容を販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容

製品名	カーナビステーション
品番	お買い上げ製品の品番に チェックしてください。 <input type="checkbox"/> CN-HE01D <input type="checkbox"/> CN-HE01WD <input type="checkbox"/> CN-HA01D <input type="checkbox"/> CN-HA01WD
故障の状況	できるだけ具体的に

■ 保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■ 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により有償にて修理させていただきます。

補修用性能部品の保有期間 **6年**

当社は、本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後6年保有しています。

転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください

■ 使いかた・お手入れなどのご相談は…

「パナソニック お客様ご相談センター」へ→裏表紙

■ 修理に関するご相談は…

お近くの「サービスご相談窓口」へ →P.127

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

？ 使いかた・お手入れなどのご相談

お客様ご相談センター

電話  フリーダイヤル コー パナソニック
0120-50-8729
 ■上記番号をご利用いただけない場合
045-929-0511 (有料)
 受付時間 9:00～17:00 (年中無休)

FAX (有料) **045-938-1573**
 受付時間 9:00～17:00
 (土・日・祝日・当社休日を除く)

よくあるご質問 (FAQ)
 メールでのお問い合わせ
panasonic.jp/car/navi/faq 

🔧 修理に関するご相談

修理ご相談窓口

修理に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」(P.127)へご連絡ください。

修理ご相談窓口サイト
<https://www.panasonic.com/jp/support/consumer/car/repair.html>

- 掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。(パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります。)
- ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- 上記のURLはお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。
- 上記の内容は、予告なく変更することがあります。

おぼえのため、記入されると便利です。

製造番号 (Serial No.)	万一の故障や盗難時に必要です。同梱の保証書、もしくはナビゲーションユニットの天面にある製品銘板で、9桁の番号をご確認ください。 ()
固有番号 (車載器ID)	製造番号が不明な場合(盗難時など)の確認用として、必要な場合があります。「バージョン情報」(P.74)で、番号をご確認ください。 ()

**パナソニック株式会社
 オートモーティブ社**
 〒224-8520 横浜市都筑区池辺町4261番地